

伍

札

NIIGATA UNIVERSITY OF HEALTH AND WELFARE
ALUMNI BULLETIN
G O T O H



巻頭言

新卒業生への祝辞

特集

10周年記念式典

福島県人会の設立について
同窓会活動
新同窓会役員紹介
同窓生は今
先輩訪問
学科近況報告

研究室Now!
国際交流
大学TOPIC
卒業生の就職状況
大学近況報告
クラブ活動報告

QOLサポーター道を極める！



新潟医療福祉大学学長
山本 正治

皆様の門出を心からお祝いたします。皆様には、本学の教育理念「優れたQOLサポーター」を心に留め、大学で学んだ知識や技術を地域社会のために役立てていただきたいと思ひます。

具体的な行動目標として「専門分野」を持ってください。卒業後まずは専門的職人として多くの対象者の方々に接すると、自分を必要とする者がこの世の中に大勢いることが分かってくるはずです。次に自分の専門分野で一流を目指してください。そのためには一流の人やモノに触れる必要があります。特にその分野をリードする国内外の専門家を“人生のお手本”として見ておくことをお勧めします。

専門家と言われている人は、多くの失敗や挫折にあいながらもそれを乗り越えて現在の成功を勝ち取った人であることも分かるはずです。失敗や挫折を乗り越えて人間が成長することを、“お手本”の中に見出すことは大事です。このような一連のプロセスを経て、自己実現の方向が見えてくるはずです。

本学の教育理念は奥が深いです。皆様にはこれから「QOLサポーター道」を極めていただきたいと思ひます。

祝
辞



新潟医療福祉大学 同窓会長
齊藤 公二

8期生の皆様、ご卒業おめでとうございます。また、新潟医療福祉大学同窓会の正会員になられたことを心よりお喜び申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願ひ致します。

社会人としてまだまだ未熟な私ですが、皆様の卒業に際し、一言贈ります。それは、「どんな時も謙虚に」ということだす。経験を積んでいく上でついていく自信は、自分を向上させてくれる素敵なものです。しかし、忘れてはいけない「謙虚さ」。謙虚でいることで、自分の可能性は高まり、周りにも最高の空気を与えると日々感じます。この言葉が心にヒットした人もしない人もいるでしょう。ただ、このような言葉は、先輩がいてこそのものです。先輩がいなかった1期生の私はようやく気がつけました。本同窓会は、そんな先輩の経験を聞くことができることはもちろん、本学を懐かしむための催しや場を作り、情報を提供してあります。同窓会役員一同、皆様の力になりたいと思ひています。何かありましたら、どうぞ同窓会へご一報ください。

新卒業生
への
祝辞

卒業を祝して



国際交流・強化スポーツ担当副学長 渡辺 敏彦

平成24年3月に卒業する8期生の皆さん、卒業おめでとうございます。大学で4年間学んだ知識・技術を駆使して社会人一年生として大活躍してくれることと確信しております。この機会に、サミュエル・ウルマン(詩人)の「青春」という詩の一節を皆さんに紹介してお祝ひの言葉と致します。「青春とは人生のある期間のことを示すのではなく、心のありかたをいうのだ。」皆さんが、入学時のキラキラした瞳と挑戦する気持ちを常に持ち続け、人生を青春して頂きたいと思ひます。

基礎を固める



教育担当副学長/医療技術学部長 江原 義弘

社会人おめでとういよいよ晴れてQOLサポーターですね。4年間の勉学の成果を思う存分に発揮してください。期待に胸をふくらませていると思ひます。でも在学中は4年生といえ最高学年でしたが、社会人になれば生まれたての1年生です。小学校の1年生の気持ちで、社会人としての生活を謙虚に学んでください。先輩に明るく挨拶をし、時間を守り、約束を守り、新人としてこなすべき仕事を黙々と実行してください。まずは足下をしっかり固めてください。すべての仕事が6年後7年後の自分の成長につながっています。まずは目の前の仕事をひとつずつ確実にクリアしてください。急ぐ必要はありません。愚直なまでに基礎固めをして将来のジャンプに備えてください。

卒業生の皆さんへ



地域連携担当副学長/社会福祉学部長 丸田 秋男

第8期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。新潟医療福祉大学で学んだことを誇りにして存分にご活躍ください。そして、これから保健・医療・福祉・スポーツ等の第一線の現場で働くときに、大切にしてほしいことがあります。皆さんは、3.11東日本大震災と向き合ったとき、想像しても想像しきれない悲しみや辛さに心を寄せ、言葉にならない声に耳を澄ませて聴きとめてくれました。北区の豊栄総合体育館に設置された避難所では5か月にわたって利用者の方々の支援に携わり、そこで他者の悲しみや喜びを通して自らがエンパワメントされる貴重な体験をすることができました。この体験を忘れることなく、常に患者さんやクライアントを第一に考えることのできる専門職を目指してください。

卒業おめでとう

理学療法学科長 大西 秀明



理学療法学科卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。国家試験も終了し、後は結果を待つばかりとなりました。4年間、様々なことがあったかと思いますが、この4月からは理学療法士として病院・施設で活躍されることと思います。これからの人生、大学で培った力を源とし、自由な発想とともに積極的に行動を起こし、楽しく悔いのない人生を送られることを期待しています。今後の皆さんの健康と益々のご活躍を祈願致します。

卒業を祝して

作業療法学科長 大山 峰生



作業療法学科8期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。卒業式を迎えられ、皆さんはきっと喜びと希望で溢れていることと思います。また8期生は仲間同士大変仲が良く、共に多くのことを経験されましたので、大きな充実感も感じておられるのではないのでしょうか。これからは、未来に向けて仲間それぞれの道を進むことになります。自分の未来は希望だけによって偶然手に入るものではなく、自分で切り開き、創り上げるものだと思います。是非とも自分の意思で実行し、努力し、着実に前進してください。その過程の中では、大きな困難に遭遇することもあります。それは力強い精神力で撃破してください。皆さんの活躍を心から応援しています。

卒業を祝して

言語聴覚学科長 糟谷 政代



言語聴覚学科8期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。昨年の東日本大震災の痛ましい災害の報に接し心を痛め、何か自分が出来ることを考えたり行動に移したりしたと思われれます。一人ではできないことも、いままでの自分のまわりの多くの「絆の力」により成し遂げられた経験で、「絆の力」の素晴らしさや大切さを再認識されたことでしょう。これから出会う「新しい絆」も大切に紡ぎ、豊かな人生を築くことを祈念いたします。

新たなスタートに向けて

健康栄養学科長 斎藤 トシ子



健康栄養学科8期生の皆様、ご卒業おめでとうございます。皆様は、様々な分野に巣立っていきませんが、どの分野に進んでも、人間について深く考え、人の苦しみや悲しみに寄り添い、人を笑顔にできる食事支援のあり方を模索してってください。さらに、専門職として努力を怠らないことは重要ですが、苦しい時は助けを求めてください。一人の力を過信せず多くの人の力を借り、問題解決を図りましょう。最後に、周囲の人々は自分の先生であり、自分は生涯、学ぶ側であるという姿勢、仕事への情熱を持って社会に臨むことを期待しています。

行動力のある社会人になってほしい

健康スポーツ学科長 丸山 敦夫



ご卒業おめでとうございます。4年間の大学生活はいかがでしたか。心身ともに健康スポーツの専門家やたくましい大人として社会に出る準備はできてでしょうか。皆さんに贈る言葉は、「行動しながら考えて目標に向かって歩んでほしい」です。おそらく仕事に携われれば多くの難題が皆さんを待ち受けているでしょう。立ち止まって考えても難題は解決しないと思います。行動しながら考えて目標に向かって進んでいく力がたくましい頼もしい社会人になる秘訣です。健康スポーツ学科で学んだ精神を生かして自信を持って社会に羽ばたいてください。

8期生の皆さんへ

社会福祉学科長 伊東 正裕



社会福祉学科8期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。昨年3月の東日本大震災・福島原発事故・7月の記録的な豪雨など、大変な状況のなかで熱心に勉学に励み、国家試験にチャレンジし、本学を巣立って行く皆さんに、心からエールを贈りたいと思います。私たちの社会は、今、大きな転換期に来ており、若い力を必要としています。卒業生の皆さんが当学科で学んだことに誇りを持ち、各自の持ち場でこれからの社会のために活躍されること、そしてそれぞれが幸福な人生を歩まれることを、切にお祈りしています。

2期生の皆さんへ

義肢装具自立支援学科長 東江 由起夫



義肢装具自立支援学科2期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんは、4年間に義肢装具・靴・車いす・シーティング並びに福祉用具について多くのことを学びました。これは既に到来している高齢社会における福祉用具をも担う新しい義肢装具士教育を受けたことになります。従って皆さんには、本学で学んだことを礎に、福祉用具の知識に長けた義肢装具士としての専門性を深化させていただきたいと思っています。そして1期生に続き、本学の建学の精神“QOLサポーター”として活躍することを教員一同、切に望みます。

卒業生の皆さんへ

健康科学部長/看護学科長 塚本 康子



看護学科3期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。40年前、私の学生時代の大きな社会問題は公害でした。空気汚染や海や川の汚染によって人々の健康被害が相次ぎ、高度成長と表裏一体で健康問題が生じていました。あれから時が過ぎ、公害問題も忘れかけた頃、3.11の大震災、その後の放射線汚染というとても大きな問題が生じてしまいました。これから30年間、どのように環境を整えていくのか、私たちに大きな課題が課せられました。これから医療の現場に就く皆さんには重い荷物が課せられたかもしれませんが、21世紀を生きる皆さんには希望の未来も待っています。新しい未来を切り開く皆さんのバイオニア精神に期待しています。真面目で、いつも誠実だった3期生の皆さん、これから社会で出会うさまざまな問題にもきっと誠実に立ち向かっていくでしょう。誠実さに加え、経験を培い、たくましい看護職に育ってくださることを願っています。今後の皆さんの活躍を祈念しております。



開学10周年 記念式典



本学は2001年4月1日に開学し、今年で開学11周年目にあたります。開学当時の2学部5学科から発展を続け、今や4学部10学科となり、保健医療福祉関連の大学では日本海側最大の大学にまで発展を遂げました。本学の更なる発展を願って10月28日(金)、本学にて、学内外の関係者約300名の出席のもと、「新潟医療福祉大学開学10周年記念式典及び講演会」を挙行政致しました。

式典では池田弘新潟総合学園総長、山本正治学長の式辞の後、新潟市長篠田昭氏、新潟リハビリテーション病院院長山本智章氏からそれぞれ祝辞が述べられました。祝電披露の後、江原義弘副学長より新潟医療福祉大学の10年を振り返る活動報告がありました。

記念式典後に開催された記念講演会では、東京医科歯科大学名誉教授、人間総合科学大学教授 藤田紘一郎氏による記念講演をいただき、謝辞が述べられた後、式典を終了しました。

また、記念式典及び記念講演会の後、会場をホテルオークラ新潟に移し、開学記念祝賀会を開催致しました。

この式典を新たな門出とし、建学の精神と理念に基づき、新潟医療福祉大学は未来に向けて新たな一歩を踏み出しました。

今後ともなお一層のお力添えを賜りますよう心からお願い申し上げます。



開学10周年記念式典式辞

平成23年10月28日
新潟医療福祉大学学長

山本 正治

深まり行く秋のこの良き日に、ご来賓の方々をお迎えて、新潟医療福祉大学の開学10周年記念式典を挙げて、学長として大変嬉しく思います。

本学は平成13年4月に開学し、今年3月をもって10年を経過しました。開学時は2学部5学科でしたが、今や4学部10学科となり、大学院を含めると学生数が約3,000名(平成23年5月1日現在2,965名)の大学に成長しました。保健医療福祉関連の大学では日本海側最大の大学となりました。私は高橋榮明学長の後任として昨年4月に学長に就任致しましたが、開学10周年という記念すべき時に、皆様にご挨拶が出来ることを大変光栄に思っています。

本学が開学したのは、まさに21世紀の始まりの年である2001年でした。日本ではその約10年前にバブルが弾け、経済的不況が続いていました。また世界ではグローバル化とIT化が進行中でした。このような激動の時代に本学が始まり、そして21世紀と共に生き抜く象徴的なスタートであったと思います。

本学の学則で示された建学の精神は「優れたQOLサポーターの育成」です。この学則に則った本学の基本理念を、1. QOLを支える人材を育成する大学、2. 地域社会のニーズに応える大学、3. 国際社会に貢献する大学の3つにまとめています。

3つの基本理念に、私は格別の思いがあります。私は社会奉仕を行動指針とする世界的な国際ロータリー財団に育てられました。財団奨学生としてアメリカの大学に留学、その後ロータリークラブ会員としての経験を通して、その綱領である職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕などを学びました。本学の3つの基本理念は、まさにロータリーの綱領を実現できる人材育成を目指している点で一致しております。多分偶然の一致と思いますが、本学の基本理念は、

日本だけでなくこれからの国際社会を生き抜くために最も重要なグローバルスタンダードであると考えています。私が今まで大事にしてきたことが、学長として本学でそのまま継続できることは幸せなことと感謝しております。

ところでオバマ大統領は2年前、Change! Yes, we can.と言って大統領になりました。私は今もこの言葉を大事にしております。私は学長として、本学でも変わらねばならないことがあると思っています。それは我々自身の意識です。一方私にはもう一つの好きな言葉があります。それはWe must change to remain the same.です。日本語訳は、「今のまま留まるために我々自身が変わらねばならない」であります。「山猫」という映画の中のセリフですが、1860年代の統一戦争で揺れるイタリアが舞台で、貴族階級が生き残るためにその子供が父親に向かって言う切ない言葉であります。日本では明治維新の頃の人達の気持ちに相通ずるものがあります。150年の時空を越えた現在の激動する社会の中で大学が生き残るためには、私たち自身の意識改革が重要となります。

一方如何なる時代が来ようとも、本学には変えてはいけないことがあります。それは建学の精神と基本理念であります。特に国内では100年に一度と言われる経済不況、18才人口の減少、東日本大震災以降の不安定な政治・経済状態、外国ではギリシャ金融危機など、世の中の動きに変化が感じられる現代を、本学が生き抜き、さらなる発展を遂げるために、開学当初に決めたこの一念を貫くことが重要であると考えます。私は学長として、このことを開学10周年の記念式典に当たり、皆様にお誓いし、記念式典のご挨拶いたします。

開学10周年記念品贈呈式を執り行いました。

平成24年1月21日(土)、開学10周年記念品贈呈式を執り行いました。

母校の開学10周年を記念して、同窓会より太陽電池式アウトドアクロックを寄贈することになり、山本学長へ目録を贈呈いたしました。

贈呈式には齊藤公二同窓会長を始め、8名の同窓会役員が参加しました。多くの役員は学長室を訪問するのは初めてで、少々緊張しながら学長室へ入室しましたが、学長から歓迎を受け、和やかな贈呈式となりました。同窓会長から「在学生の皆さんが、限られた時間を有効に使って欲しい」と時計を寄贈する目的について話がありました。また、学長からは「誰にでも平等に与えられている時間を学生は勿論、同窓生の皆さんも大切にしてください」とのご挨拶をいただきました。

今年度内には工事を終え、新年度が始まるころには在学生の皆さんにお披露目できることと思います。



開学10周年を記念して

10周年記念誌が刊行されました。

新潟医療福祉大学は平成13年4月に開設され、今年3月をもって10年を経過しました。4学部10学科、学生数3,000名に成長し、保健医療福祉関連の大学では日本海側最大規模の大学となりました。同窓生も今や約3,000名に増えています。

新潟医療福祉大学の建学の精神は「優れたQOL(クオリティ・オブ・ライフ)サポーターの育成」です。そしてこの学則に則った本学の基本理念を、①QOLを支える人材を育成する大学、②地域社会のニーズに応える大学、③国際社会に貢献する大学の3つに纏めています。刊行の辞で、山本学長は「如何なる時代が来ようとも、本学には変えてはいけないことがあります。それは建学の精神と基本理念であります。」と書かれています。同窓会としても、母校の建学の精神、基本理念を共有し、同窓生相互の連携・親睦及び相互の研修・向上を図っていきたいと思います。今後も母校の発展に役立つ活動をしていきたいと思ひます。

10周年記念誌 目次

- 第1章 大学の基本理念
- 第2章 新潟医療福祉大学の沿革
- 第3章 組織
- 第4章 学部と大学院
- 第5章 教育
※第5節には同窓会についての記載があります。
- 第6章 研究
- 第7章 国際交流
- 第8章 学生生活
- 第9章 地域社会への参加
- 第10章 教育研究環境
- 第11章 今後の展望





福島県人会の設立について

県人会のトップバッターとして、平成23年8月8日に第1回「福島県人会」が開催されました。県人会設立の目的は、学科・学年の枠を超え、出身県と同じ学生が交流し親睦を深めることですが、その背景には、学生同士のピアサポートが深まってほしいという思い、将来的には、郷土の保健・医療・福祉・スポーツの発展に寄与してほしいという思いがあります。1回目の県人会参加学生は9名(男4、女5)でしたが、自己紹介や今後の活動について活発な意見交換がなされました。学生からは、飲み会が一番交流できるのではないか、名簿を作ってもよいか、医療情報の勉強会をしてはどうか、ボランティア活動呼びかけてはどうか、活動内容をブログで発信してはどうか、会員増対策が必要ではないか等、頼もしい意見ができました。設立から半年後の今、現実的には、どの学科も臨地実習等が多く、交流時間の確保が困難という課題があるようですが、設立趣旨の実現に向け、学生をバックアップしていきたいと考えています。

福島県人会担当教員:健康栄養学科長 齋藤トシ子





ホームカミングデー 記念講演

MEMORIAL LECTURE

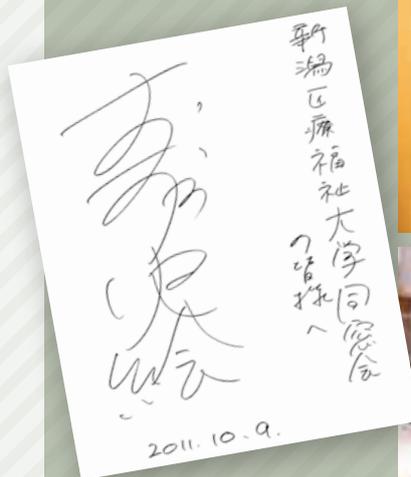
平成23年10月9日、第2回ホームカミングデーが開催されました。今回は内科医のおおたわ史絵先生をお招きし、「自分でできる性格診断」をテーマにご講演をいただきました。

おおたわ先生のご活躍はテレビでご存知のことと思いますが、現在も開業医としての日常の診察のほかに障害者医療、山岳ボランティア診察、執筆活動等、多方面でご活躍されています。講演は、日々の活動での出会いや経験、芸能界のちょっとした裏話まで、おおたわ先生の気さくな人柄と盛りだくさんの内容で、あっという間に時間が過ぎていきました。メインテーマであった「自分でできる性格診断」では全員が参加できる質問形式でお話をしていただき、自身の性格傾向や病気になるやすいか否かなど、興味深いお話をしていただきました。

第1回ホームカミングデーを振り返り、準備を行ってきましたが、経験が少ないことでの不安も多く、不安を抱えながら当日を迎えました。しかし、山本学長をはじめ、同窓生、在学生、地域の方々など、多くの方が会場に足を運んでくださり、普段の生活ではなかなか交流できない方々とも同じ時間を過ごせたことを、役員一同大変嬉しく思っております。卒業後、大学に訪れる機会も少なくなってしまうますが、大学にもっと気軽に立ち寄れる、何かそんなきっかけを作れるよう、役員一同、活動を続けていきたいと感じています。

最後になりましたが、ご講演をいただいた、おおたわ史絵先生をはじめ、ご協力いただいた山本学長、渡辺副学長、事務局の皆様にご面をお借りして心から深謝申し上げます。

(作業療法学科 2007年卒 大滝直子)





ホームカミングデーの 交流会の様子

おおたわ史恵さんの講演の後、交流会を行いました。交流会にはおおたわさんも参加していただき、山本学長をはじめ先生方や同窓生、在學生を交え多くの方が集まってくれました。同窓生よりおおたわさんへ質問があり、講演会に続き様々な楽しいお話を聞くことができました。また、同窓生同士で仕事や学生時代の話で盛り上がり、懐かしい思い出話に笑顔があふれていました。更には同窓生と在學生の交流もあり、学科や学年の枠を超えた交流の場となりました。短い時間ではありましたが、それぞれにとって自分への良い刺激となる有意義な時間になったと思います。

同窓会では、今後もこのような交流の場を作っていきたいと考えています。参加して下さったみなさん、ありがとうございました。またこのように同窓生で集まり、素敵な時間を過ごせることを楽しみにしています。是非、ご参加ください。

(健康栄養学科 2011年卒 高橋恵子)

国家試験出陣式

同窓会から合格祈願鉛筆贈呈

毎年、国家試験を受験する在校生のみなさんの合格を祈願して、同窓会より合格祈願鉛筆を贈呈しています。今年は、昨年同様に合格祈願鉛筆を受け取り、国家試験に見事合格を果たした8期生役員によって、鉛筆の文言が決定されました。受験生の皆さんに自信を持って、リラックスして本番に望んで欲しいとの先輩の思いが込められた鉛筆です。

写真は、1月20日に行われた社会福祉学科の国家試験出陣式の模様です。出陣式の中で、伊東学科長より受験生の代表に手渡されました。その後、先生方より受験生一人ひとりに激励とともに合格祈願鉛筆が贈呈されました。

3,000名の先輩からの激励の思いが詰まった鉛筆をお守りにして、合格を勝ち取ってください。



新 潟

新同窓会役員の紹介

NewFace

理学療法学科
小柳 亜友美

本学で尊敬する先生や先輩方、志を同じくする仲間、後輩達に支えられ有意義な学生生活を送ることができました。

今後はこの4年間の経験を社会に提供できるように努力していきたいと思っています。

また、同窓会新役員として卒業生や後輩達、さらに大学との連携をはかり、情報発信や情報交換を行う際の架け橋としてお役に立てるよう微力ながら精一杯努めさせていただきたいと思っております。よろしく願いたします。

NewFace

作業療法学科
松島 仁美

大学に入学してからの4年間はあっという間でしたが、本学で充実した時間を過ごせたことが、自分の夢へと大きく飛躍するきっかけになったと思います。ご指導いただいた先生方、尊敬すべき先輩方、そしてお互いに支えあってきた大切な仲間たち、たくさんの人に出会い、たくさんのことを学ぶことができました。本学で得た経験や出会いは、今後の自分にとって大きな力となり、支えとなると確信しています。そして、同窓会役員となり今後は、卒業生や在学生、先生方との「絆」をサポートしていく役割を通して、自分自身も「絆」を繋ぎ、大切にしていきたいです。宜しく願い致します。

NewFace

言語聴覚学科
上之山 恵利

この大学に入学してから、あっという間に4年が経ちました。毎日こうして充実した日々を送れたのは、学科やサークルで知り合った友人達、そして丁寧に指導して下さった先生や先輩方のおかげだと改めて実感しており、皆さんには感謝の気持ちでいっぱいです。この大学で学んだ知識や経験が、これからの臨床経験の励みになると感じています。今後は同窓会役員として、先輩方や8期生の皆さん、在校生の皆さんが1つになる架け橋として、そして、これから自分が社会に出て学び、経験したことを在校生の皆さんに幅広く提供できるよう、精一杯努めていきたいと思っております。どうぞよろしく願い致します。

NewFace

義肢装具自立支援学科
渡邊 翼

時というのは早いもので、ついこの間始まったと思っていた4年間の学生生活も終わりを迎えるようしております。私にとってこの4年間はこれまでの私の価値観や考え方を見つめ直す大切な時間となりました。私が大学生活に大きな意味を持ったように、在学生やこれから入学してくる方々が有意義な学生生活を送る手助けが少しでもできるように、微力ではありますが、精一杯努めてまいりたいと考えております。どうぞよろしく願い致します。

NewFace

健康栄養学科
坂井 千明

私が新潟医療福祉大学で過ごした4年間は、かけがえのない時間だったと思います。尊敬する先生方のもと、同じ目標を持つ仲間と共に成長することができ、充実した4年間を送ることができました。この環境を与えてくださった先生方や友人、周りの皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。

今後は同窓会役員として、卒業生の繋がりや後輩達の学生生活のお役に立てるよう、微力ではありますが、精一杯努めさせていただきます。よろしく願いたします。

NewFace

看護学科
村松 美友紀

私は4年間の大学生活で、尊敬できる先生方や先輩方、最高の仲間に出会うことができ、とても充実した日々を送ることができました。今思い返すと、実習や課題で大変だった日々も、仲間と支え合い、先生方の熱心な指導があったからこそ乗り越えられたのだと感じています。

今後は、同窓会役員として卒業生同士、在校生や大学との素敵な繋がりを大切にできるよう、同窓会役員のみなさんと協力して精一杯頑張りたいと思っております。よろしく願いたします。

NewFace

社会福祉学科
佐藤 彩夏

本学で尊敬する先生方や同じ志を持った仲間と出会い、たくさんの人たちから支えられ、とても充実した4年間を笑顔で過ごすことができました。本学で学び、得たことはこれからの人生の糧になり、かけがえのないものになっていくと思います。

同窓会役員を務めるにあたり、後輩たちがより良い大学生活を送り、夢を叶えられるように全力でサポートをしていきたいと思っております。そして、卒業生のみなさんとの繋がりを大切に、同窓会役員として尽力していきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いたします。

NewFace

健康スポーツ学科
小林 香央里

首都圏支部

新同窓会役員の紹介

NewFace

理学療法学科
尾池 紗也香

私はこの大学で、同じ夢を持つ仲間に出会い、尊敬する先生方から暖かいご指導をいただき、さまざまな経験を通してとても充実した4年間を過ごすことができました。今まで過ごしたかけがえのない時間はこれから始まる新生活の励みになると感じています。同窓会役員を務めさせていただくにあたり、後輩のみなさんが充実した学生生活を送れるようサポートしていけるよう精一杯頑張りたいと思っております。よろしく願いたします。

NewFace

作業療法学科
刈谷 千夏

本学で過ごした4年間は本当にあっという間でした。尊敬できる先生や先輩方、同じ志を持った仲間たちの支えもあり、とても充実した日々を送ることができました。今後社会人としてスタートする私にとって、大きな糧となっていくと思います。

同窓会役員として、今までお世話になった大学や先生方、後輩の方々にもお役に立てるよう、精一杯架け橋としてがんばります。よろしく願いたします。

NewFace



言語聴覚学科
渡部 弘基

本学で過ごした4年間はあっという間でした。この4年間で振り返ると沢山の仲間に出会い、尊敬する先輩・先生方に出会い、学ぶことができたおかげでとても有意義で充実した大学生活を送ることができました。

同窓会役員を務めるにあたり、私たちの大学生活や社会に出てからの経験・情報などを提供することで在校生のこれからに少しでも役立て頂ければと思います。卒業生の皆様にもご協力をお願いすることがあると思いますが、その際にはよろしくお願いします。

NewFace



義肢装具自立支援学科
高橋 江里奈

大学生活4年間、とても楽しく過ごせました。先生方、先輩方、多くの方々のおかげだと思います。大学で得られた経験はこれから役に立っていくのだらうと思っています。

今後は社会に出て学んだことを、後輩たちに提供していきたいです。自分に出来ることを精一杯頑張りますので、よろしくお願いします。

NewFace



健康栄養学科
佐藤 温美

尊敬する先生方、先輩方や同じ目標を持った仲間、また家族の大きな支えがあり、本学での4年間で笑顔で過ごせたことに大変感謝いたします。就職を機に初めて、生まれ育った新潟を離れることになりましたが、本学での出会いや経験はこれから社会に出ていく上で大きな財産となると感じています。私が笑顔で4年間で過ごせたように、後輩の皆さんが充実した学生生活を送れるよう、精一杯努めさせていただきます。よろしくお願いします。

NewFace



健康スポーツ学科
三村 紗友理

個性的な仲間に出会い、実績のある素晴らしい先生方に直接ご指導いただいたことは、春から始まる新生活の大きな糧となり、一生の財産になると感じています。この4年間、笑顔の溢れる日々を送れたことは、本当に多くの方に支えて頂いたおかげであり、この素晴らしい環境で過ごせたことに心から感謝しています。本学で得た絆が絶えぬよう、卒業後も先生方や卒業生同士、在校生との連携をはかり、同窓会役員のみなさんと協力して情報の発信等していきたいと思っています。

NewFace



看護学科
武藤 唯

大学での4年間で、これからの人生の糧となる大切なものをたくさん吸収することができました。また、看護を学ぶ中で、人と人との繋がりを実感するとともに、自分の感性を培うことができたと思います。これらの4年間の経験は、社会に出て、多くの困難に直面した時でも、自分自身を支えてくれる大きな力になると信じています。

今後は同窓会役員として、新潟医療福祉大学の発展に寄与することができるよう、精一杯頑張っていきますので、よろしくお願いします。

NewFace



社会福祉学科
相田 佳奈子

大学生活を振り返ると本当にあっという間の日々でした。友人や先生方をはじめ、多くの方の支えがあったからこそ、ここまで来ることが出来たのだと思います。この出会いや経験は今後社会に出ていく中で大きな力になると感じています。

同窓会役員を務めさせていただくにあたって、後輩の皆さんの学生生活がより充実したものとなるよう、精一杯努めさせていただきますのでよろしくお願いします。

NewFace
新役員
顔合わせ会
Meeting



1月21日(土)、D棟102において同窓会役員と新役員の顔合わせ会が行われました。この会は昨年より実施しており、新役員がスムーズに活動ができるようサポートすることを目的としています。役員の活動について不安を感じている新役員に対し、普段中心となって活動している役員から役員会の様子や年間の活動などの話をさせていただきました。新役員の方と同じ職場にいる役員の話や、出身学校や地域の話などで話も盛り上がり、昼食のお弁当を食べながら和やかな会となりました。今回参加して下さった新役員の方は小柳さん、尾池さん、上之山さん、坂井さん、佐藤さんの5人です。新役員の方々の活躍に期待しています。



岡田整形外科クリニック勤務
嶋村 麻衣子さん(2010年卒)
健康スポーツ学科

人との関わりを大切に

Q:現在携わっているお仕事について具体的に教えてください。

病院のリハビリスタッフで、トレーナーとして働いています。物療の受付業務から、テーピングの指導、理学療法士のサポートなど行っています。

また、午前と午後の診療の間にデイケアでトレーニング指導や、週3回はスポーツクラブでのジムスタッフも行っています。

Q:大学での経験は、現在のお仕事に影響を及ぼしていますか？

はい。解剖学や生理学の授業や、福祉施設での実習経験、トレーニングやテーピングの勉強など、様々なところで影響していると思います。

Q:仕事に対するご自身のモットーを教えてください。

病院の患者さんやデイケアの利用者さん、スポーツクラブの会員さんとのコミュニケーションを大切にすることです。

病院などに通っている方の中には、治療目的だけではなく話をしたくて来院される方も多いです。そんな人たちの状態や不安を聞いて、

解消に近づけるよう一緒に努力をしていく気持ちを忘れないでいたいんです。

Q:今後の夢や目標を教えてください。

社会人3年目ですが、まだまだ勉強することがたくさんある毎日です。まだ、患者さんや会員さんの前で余裕がなくなってしまうので、今は余裕を持って指導ができるようになることが目標です。そうしたら、もっといろいろな資格取得にも挑戦していきたいと考えています。



医療法人宏愛会
はやぶさクリニック勤務
平田 雅典さん(2006年卒)
理学療法学科

『日進月歩』目標と課題を持って

Q:現在携わっているお仕事について具体的に教えてください。

通所リハビリでの個別リハビリと訪問リハビリを行っています。病院や施設を退所後、生活期に入った方が対象になります。環境設定や介助方法の指導・運動習慣の確立など医療の分野とは少し違った面からのアプローチが必要になります。リハビリが生活の一部であり、行ったことが即座に生活に反映されるため非常にやりがいがあります。

Q:大学での経験は、現在のお仕事に影響を及ぼしていますか？

大学での講義や実習などはもちろんですが、他学科の人との交流や学外での活動でも様々な人と交流できたことが良かったと思います。リハビリでは他職種やご本人・家族との連携が非常に重要です。色々な考えを持った方がいますので、連携して同じ目標に向かうことは大学時代に行なったことと似ていると思います。

Q:仕事に対するご自身のモットーを教えてください。

今までの人生、妥協にまみれていたため数多くの失敗をしてきまし

た。ある時、失敗から学ぶことが多いというふうに関き直り、少しでも人間的に日々進歩していこうと考えました。仕事において目標と課題を常に持って日々頑張っています。

Q:今後の夢や目標を教えてください。

どんな分野であれ理学療法士として常にやりがいを感じて仕事を続けること、家族とずっと楽しく過ごすことです。人間的に成長することもそうですが、できるだけ長く自分の好きなことを生きがいでやっていたいと思います。



株式会社はあとふるあご勤務
安達 勝彦さん(2011年卒)
義肢装具自立支援学科

自分が幸せじゃないと、人を幸せになんかできません

Q:現在携わっているお仕事について具体的に教えてください。

介護保険サービスに基づいた福祉用具のレンタルや販売を行っています。

主にお客様のお宅に伺い、用具の選定やモニタリングを行っています。ケアマネージャーやリハスタッフ等の方々とは接する機会が多いです。

Q:大学での経験は、現在のお仕事に影響を及ぼしていますか？

義肢装具士の資格を持っているので、ケアマネージャー等に装具などの質問を受ける事はあります。

また、力学や解剖学等は用具の使用やお客様の状態を理解する上で役に立っています。

Q:仕事に対するご自身のモットーを教えてください。

笑顔です。

Q:今後の夢や目標を教えてください。

今はまだ目の前の仕事で精一杯ですが、いずれは人にものを教えら

れる立場にたてたらなと思います。

また、仕事の事だけでなく、自分の知らない分野の事などいろいろな知っていただけたらなと思います。



患者様が笑顔でリハビリ・退院ができるように

Q:現在携わっているお仕事について具体的に教えてください。

作業療法士として、一般病棟急性期を担当しています。主に予約入院の患者様を対象していますが、その他に回復期の患者様で病態変化により急性期の治療が必要となった患者様を対象としています。時に脳卒中超急性期の患者様を担当させていただくこともあります。そのため全身状態を把握し、リスク管理に注意しながら訓練介入を行っています。対象患者様は急性期を経て、自宅退院や施設入所、転院、回復期病棟への転棟、外来リハへの移行など方向性は様々であり、患者様に合わせて必要な援助を行っています。



Q:大学での経験は、現在のお仕事に影響を及ぼしていますか？

解剖・生理・運動学・専門分野の授業は現在働くうえで、大きな土台となっていると思います。また実習を通して、患者様との関わり方や学生・指導者としてのあり方を学び、今後指導する立場となる中で参考にさせていただきたいと思っています。

Q:仕事に対するご自身のモットーを教えてください。

Dr.を中心に他職種と協力して患者様に関わることです。質の高い医療を提供するためには、チームアプローチが必要不可欠と考えます。一般病棟急性期を担当させていただく中で、患者様やご家族は様々な不安を抱えていることが多くあります。そのため、いかに安心してリハビリに取り組み、笑顔で退院を迎えられるかを常に考え、関わらせていただいています。

Q:今後の夢や目標を教えてください。

目標は、今よりもっと患者様の方向性を見据えた訓練介入が行えるようになることです。また今年はOT4年目となり、学生や後輩を指導する機会が増えてきます。そのため自己学習を継続しながら、指導者としての確かなアドバイスや援助が出来るよう努力していきたいです。



財団法人 黎明郷
弘前脳卒中・リハビリテーションセンター勤務
三上 奈月さん(2008年卒)
作業療法学科

人とのつながり

Q:現在携わっているお仕事について具体的に教えてください。

病院のケースワーカー(精神保健福祉士)として、認知症治療病棟と一般内科病棟を担当しています。主に、患者さんの入院から退院までの支援を行ない、外来患者さんの相談等にも対応しています。

面談や電話で本人・家族等の相談に応じつつ、地域の関係機関と連絡を取り合ったり、院内でも他職種との連絡調整を行っています。

Q:大学での経験は、現在のお仕事に影響を及ぼしていますか？

現場実習での経験が影響あると感じています。卒業後の進路にも関わりますし、仕事を始めてからも、実習での経験が現在の自分のベースになっている部分もあるように思います。

実習では、できるだけ積極的に学び、色々な機関を見た上で、その時に感じたことを大切にしていけると良いと思います。就職してからはなかなか他の職場の中に入る機会もないので、結構貴重な体験な気がします。

Q:仕事に対するご自身のモットーを教えてください。

「本人主体」

誰のための支援をしているのかを忘れないように。

また、高齢者に関わる人が多いのですが、高齢者は今までがんばって人生を歩んできた大先輩なので、その人の今までの人生を尊重した関わりを忘れないようにしたいです。

Q:今後の夢や目標を教えてください。

いろいろと経験して、人に安心感を与えられる、大きな人になりたいです(´▽´)



医療法人立川メディカルセンター
柏崎厚生病院勤務
品田 理絵さん(2006年卒)
社会福祉学科

♡ 心に届くいい話

私は今、靴の修理やオーダーシューズの採型・適合をする仕事に就いています。靴はとても繊細で、修理すると言っても数ミリの誤差で履き心地が変化したり、靴ひもの締め方だけでも歩きやすさが変わってきたりします。お客様に直接触れる製品を作る業種の方であれば、その微妙な調整の重要さを分かっていたらと思います。しかし、そういった調整を早急に行わなければならない場合も、日々の業務の中で出てくると思います。

私も、「この後履いていきたいんだけど、すぐ修理をお願いできないか」と、いうお客様が来店されることがあります。修理の内容は、いつも通りやれば余裕を持って出来るものです。しかし時間が迫っていることがプレッシャーとなり、普段はしないミスをしてしまうことがあります。ある時、致命的なミスをしてしまい、作業を一からやり直さなくてはならなくなった時がありました。すでに時間はなくなり落ち着きを欠いた状態で作業をしたせいで、指を怪我してしまいました。作業に支障はない程度で済みました

が、少し冷静になって考えることができるようになり、同時にある言葉を思い出しました。「焦るな、急げ」高校時代に読んだ小説の一文です。それから一度深呼吸して、もう一度最初からやり直しました。予定の時間より数分遅れてしまいましたが、きちんと完成させることができました。それからは、自分が焦っていると感じた時は「焦るな、急げ」の言葉を思い出し、頑張っています。

高校時代の私は言葉の意味をきちんと理解できていませんでしたが、焦らず冷静に行うことで、余計な失敗が減り結果的に早くなる、と言いたかったのだとこの時理解できました。また、お客様のことを考える余裕がなければ、より良いものは出来ないと思います。

きっと当たり前のことなのでしょうが、時にはそういう当たり前のことを思い出してみると良いのかもしれない。

(義肢装具自立支援学科 2011年卒業生)

先輩
訪問

新潟医療生活協同組合 木戸病院

伊藤 友子さん(健康栄養学科 2005年卒) 小林 真美子さん(健康栄養学科 2005年卒)

INTERVIEWER
健康栄養学科3年
伊藤 真紀子さん

話になりましたが、患者さんとの触れ合いだけでなく、職員同士のコミュニケーションも大切にしている病院だと感じました。親切丁寧にご指導くださり、大変有意義な実習をさせていただくことができました。

木戸病院には5名の管理栄養士がおり、そのうちの2名が新潟医療福祉大学の1期生、伊藤友子さんと小林真美子さんです。今回、お二人からお話を伺うことができました。

管理栄養士の業務には、食数管理や献立作成、栄養管理計画書の作成、栄養相談などさまざまなものがあります。また、木戸病院の給食は直営方式であり、調理師の業務改善のサポートも行っています。さらに、伊藤さんはNSTで、小林さんは褥瘡委員で、他職種と連携しながら患者さんの病状回復に貢献されています。さまざまな職種が情報が共有しながら一丸となって患者さんをサポートしていくことが必要不可欠であり、その中で管理栄養士の役割もとても大きいと言えます。

仕事のやりがいについて伺ったところ、「単純だけど、食事がおいしいと言わ

れたときはとても嬉しい」「栄養相談に来てよかったと言ってもらえたときにやりがいを感じる」と話されていました。やはり患者さんからの言葉は大きな励みになるのだと思いました。体だけでなく心も元気になる「食」と関わる管理栄養士の魅力を感じ、私自身なりたいたいという気持ちも更に強くなりました。

今後の目標として、伊藤さんは「症状の原因を多方面から考えられるようにになりたい」、小林さんは「地域の糖尿病療養指導士の資格を取得したい」とおっしゃっていました。常に向上心を持って仕事に取り組んでいる姿勢がとてもカッコイイと思いました。また、資格を取得して終わりなのではなく、そこがスタートであり、常に勉強していかなくてはならないことを改めて強く感じました。

伊藤さんから「学生時代にしている勉強がすべて働いてからに繋がるので、その場しのぎではなく今を大切にがんばってほしい」、小林さんから「自分にとって1番優先すべきことが何かを見分ける力をつけてもらいたい。それから、勉強も大切だけど健康でいることもとても大事だから体調管理に気を付けてほしい。」と後輩へのメッセージをいただきました。今回訪問させていただき、対象者に信頼してもらえる人間になれるよう、自分を磨いていかなければならないと思えました。伊藤さんと小林さんからアドバイスをいただいたことを参考に、無理し過ぎずに今できることを精一杯やろうと思います。そして、1年後には必ずスタート地点にたっていたいと思います。

最後にありがとうございました。本当にありがとうございます。

INTERVIEWER
言語聴覚学科3年
田中 宏美さん

新潟西蒲メディカルセンター病院

桑原 優介さん(言語聴覚学科 2009年卒)



床です。リハビリテーション科では、入院されている患者さんのリハビリテーションだけでなく通所リハや訪問リハも行っています。また、隣接されている介護老人保険施設「楨の里」と連携を図っており、一般的な医療を提供できる体制となっています。近辺に大きな病院はなく、地域密着型の病院となっています。とても大きな病院で院内も清潔に保たれており、患者さんが快く利用できるよう工夫がされているという印象を受けました。

リハビリテーション科では22名のスタッフが働いており、4名の言語聴覚士がいらっやいます。今回は5期生の桑原優介先生にお話を伺わせて頂きました。桑原先生は現在、維持期のリハビリテーションを担当されています。摂食・嚥下障害の患者さんを中心に失語症や高次脳機能障害、ディサシアの患者さんのリハビリテーションを行っています。また、通所リハではご家族の指導も行っています。中には再入院される患者さんもいらっしゃるようですが、患者さんやご家族の方に顔を覚えてもらっていたことが地域のつながりを感じ、嬉しかったとおっしゃっていました。また、仕事のやりがいについて質問したところ、重要な事柄を任せられた時、責任は重大だがやりがいを感じるとのことでした。今後の目標については、毎日笑顔を保ちながら患者さんに楽しくリハビリテーシ

ンをして頂けるようにしたいとおっしゃっていました。また、疾患についての理解をさらに深めるために勉強に励んでいきたいとのことでした。最後に、後輩へのメッセージを頂きました。臨床ではコミュニケーション能力が大切なので、勉強も大切ですがバイトや趣味など大学生のうちのできることをたくさん経験してくださいとのことでした。

今回訪問させて頂き、短い時間でしたが臨床での言語聴覚士についての理解がさらに深まりました。私も患者さんや地域の方々のために働くことのできる言語聴覚士になりたいと感じました。

最後に、お忙しい中機会を与えてくださった病院スタッフの皆様や貴重なお話を聞かせて下さった桑原先生に深く感謝いたします。本当にありがとうございました。



理学療法学科

理学療法学科 准教授
相馬 俊雄

卒業生の皆さん、お元気ですか。学科の近況を報告します。9月3・4日に小林量作先生が学会長となり、第30回関東甲信越ブロックPT学会が朱鷺メッセ(新潟)で開催されました。天候にも恵まれ約1,500名の来場者があり、卒業生も大勢足を運んでくれました。一般演題やフレッシュマン発表では、卒業生が症例報告や卒業研究を発表して、学会を盛り上げてくれました。また、12月14日には運動機能医科学研究所が開設一周年を迎えました。大西秀明学科長(所長)をはじめPT学科の教員や大学院生も研究所のメンバーになっており、積極的に研究活動に取り組んでいます。



学科内では、4年生が今年度も厳しい状況が予想される国家試験に向けて、必死に勉強に励んでいます。また、2・3年生は評価・臨床実習に向けて、OSCE(客観的臨床能力試験)を行い、緊張感を持って模擬患者に対して評価・治療を実践しています。

このような学科内のトピックは、学科のホームページ(<http://www.nuhw-pt.jp/>)で随時紹介していますので、遠方にいる卒業生は、是非とも確認してみてください。

このような学科内のトピックは、学科のホームページ(<http://www.nuhw-pt.jp/>)で随時紹介していますので、遠方にいる卒業生は、是非とも確認してみてください。

作業療法学科

作業療法学科 准教授
永井 洋一

卒業生の皆さん、お元気ですか?大震災や国内外の経済的停滞など暗い話題の多かった年が明け、今年は辰年(Year of Dragon)。大きな変化の期待できる年になるでしょうか?

さて、作業療法学科では相田先生が12月に育児休業から復帰され、短い間勤務された吉沢先生が秋田方面に移られました。4年生は国家試験全員合格を目指して引き続き努力しています。3年生は総合実習前の最大のハードル=期末試験に向けてがんばっています。2年生は当学科初めての海外研修~米国アリゾナ州Mid-Western大~に7名が参加予定で、英語の準備に余念がありません(引率は鈴木先生と私です)。1年生は期末試験終了後の基礎実習(施設見学)に期待を膨らませています。



こうして皆さんの後輩は順調に育ち、皆さんのような作業療法士になる日を夢見て過ごしています。皆さんも初心を忘れず、利用者や周囲から信頼される作業療法士を目指して精進を続けて下さいね。



言語聴覚学科

言語聴覚学科 講師
栗崎 由貴子

本年4月に着任致しました栗崎と申します。卒業生の皆さまにおかれましてはご活躍のことと存じます。



言語聴覚学科は今年度の「第11回新潟医療福祉学会」開催担当学科でした。精谷政代学科長が大会長となり、今村徹先生の指揮のもと教員や卒業生有志一同が丸となって取り組みました。おかげさまで、当日は学内・学外から200名を超える参加者があり、大盛況の学術集会となりました。臨床現場の第一線で活躍している当学科卒業生も質の高い研究発表をしてくれました。久しぶりに顔を合わせたであろう卒業生の嬉しそうな姿がとて印象に残っています。



教育的取り組みとしては、山岸達弥先生引率でアメリカ・ロサンゼルス英語研修が行われました。参加した学生は、現地大学の講義に参加したり、先進の施設を見学したりと、充実した1週間を過ごしました。言語聴覚障害領域の国際的動向に触れ、将来への夢もさらに広がったようです。

義肢装具自立支援学科

義肢装具自立支援学科 助教
藤枝 温子

義肢装具自立支援学科卒業生の皆さん、仕事には慣れましたか?

今年度は顔ぶれも新たに、新任として笹本先生、飯塚先生が着任され、5期生



54人が新たに加わりました。そして、東江先生が学科長に就任され、今年度大学院生となった松久君と郷君がTeaching Assistantとして授業の補助や支援を行ってくれています。H22年7月まで本学科で教鞭をとられていた谷川先生が、昨年の12月よりAT学科の教務事務として学科運営を支えています。夏に行なわれた臨床実習では、大学始まって以来の海外で実習を実施



することができました。H24年度の臨床実習では卒業生の皆さんに、後輩の指導をお願いすることと思います。社会人の先輩として、臨床で得た知識や技術・思いを後輩へと伝えてください。そして、大学に遊びに来て先生方にも近況報告してくださいね。

健康栄養学科

健康栄養学科 講師
蘆田 一郎

卒業生の皆様、こんにちは。2011年は東日本大震災をはじめとする様々な自然災害に見舞われましたが、被災された人はいませんでしたか?当科で情報収集した範囲では、生命にかかわるような重大な被害は報告されておらず、ひとまず安心していただいております。



さて、そんな震災の衝撃が醒めぬ中、(決行すべきかどうか迷いましたが、受入れ先との関係もあるところから)学生の米国研修を実施しました(3/17~3/30;学生6名+教員2名)。運行のトラブルなどにも遭わず、カリフォルニア州立大学、ロサンゼルス給食センター、病院、企業を訪れて無事に授業・食堂見学や学術・文化交流を果たし、一皮剥けた頼もしい姿で帰ってきました。

一方、ここには書ききれない「定番イベント」も盛り沢山です。ぜひ当科のブログで確かめてください。



<http://nuhw.blog-niigata.net/hn/>
今、第8期生の44名が国家試験合格を目指して追い込みをかけているところです。どうぞご声援と、社会に迎える準備をお願いします。それでは、皆様の益々の活躍と発展を鳥見の地より祈っています。

健康スポーツ学科

健康スポーツ学科 講師
佐近 慎平

皆さん、はじめまして佐近と申します。2012年3月をもって小田切先生が退職され、レジャー・レクリエーションのバトンを引き継ぎます、宜しくお願いします。



さて、2011年8月に「スポーツ基本法」が改正され、条文には「スポーツは、世界共通の人類の文化である」と宣言し、スポーツの価値や意義、スポーツの果たす役割の重要性を示しています。まさに2011年はスポーツの底力を実感する1年でしたね。今後、スポーツ基本計画や各種省令策定などの新しいアクションがスタートします。一緒にスポーツの力で日本を元気にしませんか、もう一度自らの研究課題に取り組みたい方は大学院で学ぶこともできます、気軽に大学・研究室にお立ち寄りください。



健スポは元気です。クラブの活躍・こともや高齢者へのスポーツ教室・国内外への研究発表などと活発です、詳しくは大学HPより健スポのオリジナルサイトをご覧ください。

皆さんと現役生が繋がり共に発展することを心より期待しています。

看護学科

看護学科 准教授
三澤 寿美

看護学科1年生は、大学生としての生活が1年を経過し、2月には看護職をめざす



学生として2回目の臨地実習に臨みます。1年前期のはじめての実習では見学が主でしたが、今回の実習では、看護の対象者との直接的なかかわりを実際に体験します。緊張や少しの不安をかかえながらも、対象者のために何ができるかについて考え準備をすすめているところです。2年生は、対象者の特性や発達レベルに応じた看護専門科目を通して、日々看護職になることの責任や課題と向き合いながら学習をすすめています。3年生は、4年間のなかで、連続して最も長い期間の臨地実習に取り組んでいます。看護実践を通して学内で学んだ看護の専門知識・技術・態度を確認するとともに、看護職として対象者に真摯に向き合う姿勢を学んでいます。また、国際的に活躍できる看護職をめざして、3月には英国での研修に参加する3年生もいます。4年生は、実習も卒業研究も無事に終了し、2月中旬の4日間集中して行われる看護師、保健師、助産師国家試験の合格に向けて、最後の追い込みの時期です。3年生から応援をいただき、後輩の期待も背負い、看護職としての自分の姿を思い描きながらがんばっています。この努力がうれしい結果を連れてくると信じています。

社会福祉学科

社会福祉学科 准教授
渡邊 敏文

卒業生の皆様、元気でご活躍のことと存じます。社会福祉学科では新潟県内の福祉関係者等と連携し、東日本大震災で被災された方々が避難している福島県南相馬市の仮設住宅を訪問する社会貢献活動を行っています。昨年は9月17日(土)・18日(日)、12月23日(金・祝)・24日(土)に、今年は1月14日(土)・15日(日)に実施しました。今年度は、さらに2回の訪問を予定しています。学生は、その都度、現地の避難先で、どのようなことを行って交流を図ればよいか、様々なことを企画し運営を行っています。昨年の9月は仮設住宅集会所でゲーム大会や新米コシカリの試食会を行い、12月にはクリスマスケーキと一緒に作ることや、サンタクロースも交えたビンゴゲームなどを行いました。

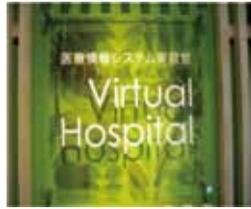


いずれの活動も、被災者同士との交流を促進することに役立っています。また、学生はこれらの活動をとおり様々なことを学び、同行する行政や社会福祉協議会の職員の方などとの連携をとおり、専門職としての学びを深めているところです。

医療情報管理学科

医療情報管理学科 教授
瀧口 徹

昨年4月から本学科に赴任した瀧口徹です。平成24年度は第1期生が3年生なり、各学生は診療情報管理士を目指すか、ドクターズクラーク、さらに情報系の企業へ就職するか等を選択するかの岐路に立ちます。前者は病院IT化に必須の職種です。とりわけ厚労省が6年前に全大学病院等に導入したDPCシステムという診療報酬システムの普及に伴ない、急激に需要が伸びていくと予想されます。またドクターズクラークは病院における医師の非臨床的業務の軽減化が病院経営上喫緊の課題になっており、その担い手である後者等の保険上の評価が開始されたことで需要の喚起が見込まれています。本学科のバーチャルホスピタルは上記の2職種の資格獲得に関連した模擬体験



や学習ができる設備です。学生たちはこのような設備を使い診療情報管理士はじめ医療・情報・経営系の業種へ就職して頂くために私たち教員は全力を傾注しています。

臨床技術学科

臨床技術学科 准教授
牧口 智夫

平成23年4月に新設学科として第1期生99名を迎え、早くも1年が経過しようとしています。当学科は臨床工学技士と臨床検査技師の二つのライセンスを目指す学科として日本で初めて設置された学科です。学科の特殊性上かなりハードなカリキュラム設定になっております。特徴的なのは、前期は座学中心、後期は実習中心と言う構成となっていることです。そのため、前期はお尻の痛みに耐え必死にノートを取ったと多くの学生は申しておりました。後期は、生理学実習、解剖学実習、生化学実習、医用工学概論実習などが実施され、レポート地獄だけれど変化があって楽しみながら学べたと学生は申しております。特に生理学実習の中で行った採血実習では、シミュレーターモデルで練習をした後に学生同士で採血を行うというプログラムで実施致しましたが、緊張の中で実習は行われ、モデルと生身の人間との違いを強く感じたようです。



今後、彼らとともに「臨床技術学」と言う新しい学問の創成に努力して参りたいと考えております。

「第11回新潟医療福祉学会学術集会」報告

去る10月22日(土)、本学キャンパスを会場として第11回新潟医療福祉学会学術集会が開催されました。

平成13年に発足した新潟医療福祉学会は、保健・医療・健康・福祉の各分野における研鑽と相互の連携、共同研究の発展を目的とする学術団体です。学術集会当日は、第11回大会長である言語聴覚学科長の糟谷政代教授のもと、学内外から200余名の参加者が集いました。約70題の口頭およびポスター発表とシンポジウムが行なわれた会場では、終日熱心な討論が繰り広げられました。

今年度の学術集会では『高次脳機能障害支援:新潟における展開』と題したシンポジウムを行ないました。平成22年度には新潟県精神保健福祉センター内に高次脳機能障害相談支援センターが設置され、また、保健、医療、福祉、教育の各分野においても、医療的リハビリテーション、在宅療養介護支援、就業支援、家族支援と家族会の活動など、さまざまな展開が始まっています。今回のシンポジウムでは、新潟県下の各分野の皆さんに現場での活動をご報告いただき、今後の課題も含めて議論を深めることができました。

新潟医療福祉学会も発足から10年を経過し、今年度の学術集会の参加者数、発表演題数はともに過去最高を記録しました。これは発足当初の数倍という規模です。これも本学会が地域に根付いた学術団体として認知されつつあることの表われであろうと思います。

来年度の学術集会は、医療情報管理学科の東條猛学科長を大会長として開催される予定です。来年度も同窓生の皆さんが多数ご参加くださることを願っています。



参加者の熱気渦巻くポスター発表会場



シンポジウム「高次脳機能障害支援:新潟における展開」の総合討論

シンポジウム・プログラム

はじめに 高次脳機能障害とは

今村 徹 (新潟医療福祉大学大学院 教授)

1. 高次脳機能障害支援事業と新潟県相談支援センターの活動

福島 久美子 (新潟県高次脳機能障害相談支援センター 相談支援コーディネーター)

2. 高次脳機能障害のリハビリテーション:

回復期の医学的リハビリテーションから維持期の生活訓練まで

工藤 由理 (総合リハビリテーションセンターみどり病院 リハビリテーション科 部長)

3. 高次脳機能障害の就業支援

岩波 敏行 (独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構 新潟障害者職業センター 主任障害者職業カウンセラー)

4. 高次脳機能障害の自動車運転技能評価

外川 佑 (新潟リハビリテーション病院 リハビリテーション部作業療法科 作業療法士)

5. 活動をとおして日々感じること:繋がりたいたい

石井 祐子 (地域活動支援センター スワン 施設長 / 脳外傷友の会 スワン 会長)

研究室Now!

精神障害者政策に関する研究

看護学科 准教授 西川 薫



私の研究における最大の関心は、英国で実施されている地域精神医療政策と日本の政策との国際比較にあります。日本と英国は、国民皆保険制度をはじめ非常に似たシステムを持っています。しかし、文化的な背景をはじめ異なった点も沢山あります。これらを十分に検討したうえで、日本に根差した精神障害者政策を模索することが研究の目的です。

今日の日本における精神障害者政策は、入院医療中心から地域生活中心へ、さらに地域生活において発病早期からの適切な治療や発病の予防、就労支援などの方向に大きく変化しています。一方、英国は過去において日本と同様、入院医療中心を実施していましたが政策転換により一気に入院患者を退院させ地域生活中心に移行しました。この背景には精神医療費支出が国家財政に与える影響が大きくなったことにあります。さらに英国では政府が精神科病院を直接管理・運営していたことで政策転換を容易に実施出来たのです。しかし、日本の精神医療を支えてきたのは民間精神科病院であり、英国とはこの点において決定的な違いがあります。



今後、日本はどのような政策で入院精神障害者を地域生活に移行していくのか歴史的、政策的背景と照らし合わせながら検討する必要があります。また、英国において退院を可能にした治療・看護および保健医療福祉体制（連携）についての現地調査も同時におこなっています。現地での出会いは大きな楽しみでもあります。

短下肢装具の底形状に関する研究

義肢装具自立支援学科 講師 笹本 嘉朝



卒業生の皆様、初めまして。私は2011年4月に本学に着任しました。現在は整形リハビリ領域での装具製作適合の臨床経験を生かし、装具適合の定量的評価を目的とした研究を行っております。

整形リハビリ領域でご活躍の皆様であればよくご存じと思いますが、“立つ”“歩く”といった普段何気なく行われている動作も関節機能が低下することで不安定となり、装具が必要に応じて処方されます。装具の底形状は、その使用目的に応じて特殊な加工が底部において施されていますが、それら底形状の違いによる装具適合評価は定量的なものではなく、医師・製作者・装具使用者の主観及び経験的な意見が大勢を占めているのが現状です。そこで、多様な装具底形状の違いによる定量的評価を適合判断の指標とすべく、インソール型圧力センサーシート(図1)を用いたF-SCAN足底圧分布測定システム(図2)により、歩行時における足底と装具間の足底圧分布の変化、足圧中心(COP:Center of Pressure)軌跡の変化、床反力鉛直方向成分の変化をそれぞれ計測します。底形状には足底接地時の安定や内・外倒れの防止のフレアー、踵骨内・外反矯正を目的としたウェッジ、歩行時のスムーズなローリングを再現するためのロッカーなどといった様々なものがあります。その中から“立つ”“歩く”といった条件下において主観的評価と定量的評価を比較検討することで装具使用者ならびに製作者により良い情報を提供したいと考えております。



図1



図2

理学療法学科 佐久間真由美先生のおすすめの一冊!

「企画脳」

最近読んだ仕事とは別ジャンルの本の一つ。読みたい本は世代や興味により様々だと思いますが、学生の皆さんにとっても面白いかな?と思う本を選んでみました。

この本はAKB48などのプロデューサーであり作詞家の秋元康氏の著書です。特に秋元氏のファンではないですが、ベストテン時代から既に有名だった氏が浮沈の激しい世界で今なおこれだけのヒットを飛ばせる秘訣は一体?

発想のヒントが書かれている一方、奇をてらうだけでなく中身はやはり大切であること、企画以外では常識家な一面などは好感が持てました。読み易く気楽に読めると思います。

独創的な人といえれば昨今ではAppleのSteve Jobsも思い浮かびますが、こちらはかなり破天荒でアメリカらしいのではないかと思います。



秋元 康 著

出版社 PHP研究所 2009年5月発行 560円
ISBN-10: 4569671993

図書館からのおすすめの一冊!

「深呼吸の時間」

1分で心を充電するデイリー・レッスン」

本書は、前向きな気持ちになりたい時にオススメです。

著者はハワイ在住のベストセラー作家で、執筆活動の他に世界中で講演会やワークショップなどを開催し、多くの人達を励まし続けている方です。

著者の言葉は、人生に対する力強い応援と、人や世界に対する深い愛と信頼に満ちています。そんな著者の言葉を365日の日めくりメッセージとしてまとめたのが本書です。

1日1ページずつ読みすすめていくのも良いですが、悩みや迷う気持ちでがんじがらになっている時、自由にページを開いてみてください。タイトルにあるように、心が自然に深呼吸を始め、思わぬヒントが見つかるかもしれません。

読む度に大切なことを思い出させてくれる1冊です。



アラン・コーエン 著

出版社 宝島社 2011年10月発行 1,470円
ISBN 9784796683418



国際協力機構 (JICA) 「生活習慣病予防対策」研修実施

独立行政法人国際協力機構 (JICA) の要請を受け、10月13日 (木)～11月11日 (金) に渡り、ソロモン・フィジー・マーシャル・バヌアツトンガの5カ国から10名の研修員を受け入れ、生活習慣病予防に関する研修を実施致しました。

近年大洋州では、生活習慣病による疾病・死亡率が著しく増加して、2005年には大洋州保健会議において生活習慣病の予防に関するプログラムの導入が決議されるなど、国家レベルでの対策が行われています。こうした状況を受け、独立行政法人国際協力機構 (JICA) では、政府開発援助 (ODA) の一環として、将来、各地域において生活習慣病予防の指導および対策計画の立案・普及を実践できる人材の育成を目的に「大洋州における地域保健での生活習慣病予防対策コース」を設置し、日本での研修を実施しています。

本学は、保健・医療・福祉・スポーツの総合大学として、生活習慣病予防に必要な看護師、管理栄養士、運動指導、リハビリテーションの全てに関する教育・研修を実践していることから、大学として日本で唯一、研修実施機関として選定され、一昨年度よりJICA受託事業として研修員の受け入れ及び学内外での研修を行っています。

今年で3年目となる今回の研修では、栄養・運動・看護における実践的な研修プログラムの実施、新潟県庁・新潟市役所への表敬訪問、病院見学、新潟市教育委員会や小中学校など地域との交流、新潟観光など、様々なプログラムを実施しました。研修終了後も教員が現地へ赴き、フォローアップを行うなど、継続的に評価を行う予定です。



IPE・IPWについての 国際ミニシンポジウム開催

8月2日 (火)、連携教育推進委員会が IPE (Interprofessional education: 専門職連携教育)・IPW (Interprofessional Work: 専門職連携) についての国際ミニシンポジウムを開催致しました。

本シンポジウムは、医療福祉連携について教育機関がいかに社会に貢献できるかについて英国の経験を知ることに、また、医療福祉連携の新潟地域における実践例を通して、大学教員・学生の役割の将来展望を共有することを目的としております。

当日は、英国連携教育推進センター (CAIPE) 副センター長のヘレナ・ロウ先生をお招きし、「現場協働における大学の役割」をテーマに地域医療での職種間協働における大学の役割について、英国での動向を交えながらご講演をいただきました。また、一般演題では、地域の保健・医療・福祉領域における職種間協働、あるいは連携教育を実践している本学教員が、その取り組みをご紹介させていただきました。

高齢化社会の進展に直面した我が国において、医療・福祉サービスやケアを考える際に、連携教育や職種間協働の実践がますます重要になります。本シンポジウムでは、一般演題で紹介された事例を踏まえ、専門職養成機関である大学が果たす役割や可能性について、活発な討論がなされました。



フィリピン共和国 サント・トマス大学と 国際交流に関する覚書を締結

10月26日 (水)、本学とフィリピン共和国サント・トマス大学 (University of Santo Tomas: 以下UST) との間に、国際交流に関する大学間覚書を締結致しました。

今回、覚書を締結したUSTは、マニラ首都圏の中心部に位置する大学で、開学400周年を迎えた、アジア地域に現存する最古の大学です。USTとの国際交流に関する協定の締結は本学にとって9つめの協定となります。

USTの数ある学部の中で、現在まで本学の教員・学生が訪れたのは、リハビリテーション科学部 (College of Rehabilitation Science) と看護学部 (College of Nursing) の2つの学部です。CRSには、理学療法と作業療法、スポーツ科学の3つの学士の学科があり、フィリピンで初めての言語聴覚の学科も数年前に新設されました。また、大学院には、フィリピンで初めて唯一の理学療法学修 (MSPT) のコースを設けています。

調印式では本学学長 山本 正治、UST学術担当副学長の Clarita D. L. Carillo 氏よりご挨拶を頂き、その後、覚書に調印が行われました。



大学
TOPIC 1『就職に強い大学2012』(読売新聞社)で
2011年就職率ランキング第4位、
『サンデー毎日8月7日増大号』で
福祉系就職率ランキング
私立大学1位、全国2位を達成!

超高齢社会の到来や、国民の健康へのニーズの多様化などにもない、保健・医療・福祉・スポーツの専門職の役割はますます広がり、高度な専門知識と技術を備えた専門職へのニーズが高まっています。

こうした状況の中、今回の就職率全国4位、福祉系就職率私立大学1位・全国2位という結果は、本学で身につける確かな知識・技術と高い実践力、そして「連携教育」で培った幅広い知識と高いコミュニケーション力が、病院等の医療機関や福祉施設をはじめ、あらゆる現場から高い評価をいただいている結果だと確信しています。

本学は、今後も学年進行に応じた就職指導プログラムのもと、就職センターをはじめ全学をあげた組織的な就職支援を実践し、全学生の就職活動の成功に向け、尽力して参ります。

大学
TOPIC 2『PRESIDENT 2011 10.17号』(プレジデント社)で
2011年就職率ランキング
私立大学1位、全国2位を達成!

文部科学省の学校基本調査速報(8月4日発表)によれば、2011年3月の大学卒業者の就職内定率は61.1%であり、リーマンショックに端を発した就職氷河期は以前続いております。

そんな中でも本学は「就職に強い大学」として掲載いただき、その理由に対する本学就職センターキャリア開発室スタッフの声「特別なことはしていない。ただ、学生の動きが見えないのが一番困るので、一人ひとりの学生に最後まできちんと向き合い、スタッフ間の情報の共有に努めた」もご紹介をいただいております。

本学は、今後も学年進行に応じた就職指導プログラムのもと、就職センターをはじめ全学をあげた組織的な就職支援を実践し、全学生の就職活動の成功に向け、尽力して参ります。

大学
TOPIC 3渡辺 敏彦副学長が
社会教育功労者表彰
(文部科学大臣表彰)を受賞

平成23年11月18日(金)、文部科学省(千代田区霞ヶ関)にて平成23年度社会教育功労者表彰式が行われ、文部科学大臣より本学副学長 渡辺 敏彦教授が「社会教育功労者表彰(文部科学大臣表彰)」を受賞致しました。

社会教育功労者表彰(文部科学大臣表彰)は、地域における社会教育活動を推進するため、多年に渡り社会教育の振興に功労のあった者、及び全国的見地から多年に渡り社会教育関係の団体活動に精励し社会教育の振興に功労のあった者に対し、その功績をたたえ文部科学大臣が表彰を行うものです。今年度、全国の被表彰者は96名で、新潟県からは2名の表彰となりました。

渡辺副学長は本学副学長をはじめ、新潟陸上競技協会会長、学校法人大彦学園理事長、新潟県私学振興会副理事長など多くの団体においてご活躍されており、この度は全国的な社会教育の振興に功労があったとして受賞されました。

大学
TOPIC 4健康栄養学科の稲村雪子講師が
管理栄養士として
初めて新潟県知事表彰を受賞

11月8日(火)、新潟県の政治や社会、文化の発展等に多大な功績のあった方々を表彰する、新潟県知事表彰が新潟県庁で行われ、本学健康栄養学科の稲村雪子講師が、管理栄養士として初めて県知事賞を受賞致しました。

稲村講師は「保健衛生」部門で「精神科医療分野における栄養士業務の発展に大きく貢献」したことで今回の受賞に至りました。



<稲村講師の喜びの声>

長年精神科医療分野において尽力してきた私にとって、こんなに嬉しいことはありません。それは、私のもとより、共に活動してきた仲間や、職場の方々や、私を支え、協力をいただいた多くの方々にとっても共の喜びでもあり、荣誉でもあるからです。これからも、地道に、自分の仕事に対する信念に従い、目標を失わず、一つ一つ丁寧に仕事を続けていきたいと思っております。

大学 TOPIC 5 ムリンディ／ ジャパン・ワンラブ・プロジェクト チャリティー講演会開催報告

11月16日(水)、本学キャンパスにて、アフリカ・ルワンダ共和国にて活動をされている「ムリンディ／ジャパン・ワンラブ・プロジェクト」代表のルダシグワ(旧姓吉田)真美先生によるチャリティー講演会を開催致しました。

1996年に設立された日本とルワンダ共和国共同のNGO団体「ムリンディ／ジャパン・ワンラブ・プロジェクト」は、ルワンダ共和国の首都キガリ市とブルンジ共和国の首都ブジュラに義肢製作所を開き、紛争や病気、事故などで障害を負った人々の支援を行っています。「人種・政治・宗教の違いを乗り越え、お互いを尊重し、愛し合えば、全ては前向きに動いていく」を理念として掲げ、義肢装具、杖、車椅子の制作と無償配布、義肢装具士の育成、障害を持った方々への職業訓練、障害者スポーツの普及など様々な活動が進められています。

本講演会ではルダシグワ真美先生より、プロジェクト設立の経緯やルワンダ共和国の現状、現地での活動内容等についてご講演をいただきました。参加した在学生からは「貴重な話を聞くことができた。今後、義肢装具士になる上で糧になった。」等の意見が多く聞かれ本講演会の充実ぶりが窺えました。



大学 TOPIC 6 「空飛ぶ車いすサークル」 スリランカ遠征報告

12月1日(木)～5日(月)、義肢装具自立支援学科の学生が中心となって活動している「空飛ぶ車いすサークル」のメンバーが、スリランカ遠征を行いました。これは財団法人日本社会福祉弘済会が主催し、本学と神奈川工科大学の共同で行われたもので、スリランカ政府の協力のもとに実施されました。



本学では、義手・義足や車イスなどの福祉機器の製作・適合を行う専門職を育成する「義肢装具自立支援学科」の開設以来、その教育の一環として本プロジェクトに積極的に参加しています。今回は100台の車いすをコンテナで輸送し、現地では担当大臣も出席され贈呈式が行われました。



日々「空飛ぶ車いすサークル」は精力的に活動を行っており、今後は東日本大震災の被災地を回ってボランティア活動をする予定です。

大学 TOPIC 7 「運動機能医科学研究所」開所 一周年記念式典を挙行



平成23年12月14日(水)、本学にて「運動機能医科学研究所」開所一周年記念式典が挙行されました。

昨年度に本学に設置されました運動機能医科学研究所は感覚・運動機能、運動制御・運動学習および運動器に関する基礎および臨床研究を深め、深めた研究成果を広く世界に発信することを目的としています。本研究所は理学療法学科科長である大西秀明教授を所長とし、理学療法学科・作業療法学科・健康スポーツ学科の教員ならびに大学院生が研究所員として所属し、日々研究活動に励んでおります。

この度の一周年記念式典には、山本学長をはじめ、研究所顧問である高橋榮明名誉学長や副学長、各学科長、研究所員が参加し、運動機能医科学研究所の成果報告(科研費取得状況、国際誌掲載など)を行いました。研究業績としては、外部資金獲得、多数の国際論文投稿・国内外学会発表など非常に積極的な活動が報告されました。



大学 TOPIC 8 運動機能医科学研究所研究員の論文が 「BMC Neuroscience 誌」に掲載

運動機能医科学研究所員の健康スポーツ学科 佐藤大輔講師らの論文が「BMC Neuroscience」(神経生理学分野)の雑誌に掲載されましたのでご報告させていただきます。

健康スポーツ学科 佐藤大輔講師らの研究では、「浸水条件および非浸水条件において体性感覚誘発電位を測定し、ヒトが腋下まで浸水(30℃)することで、体性感覚情報の処理が変化すること」を明らかにしました。

論文タイトルおよび著者名は以下の通りです。

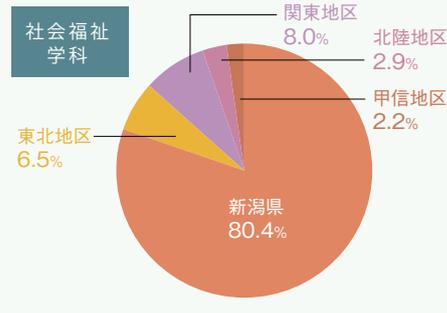
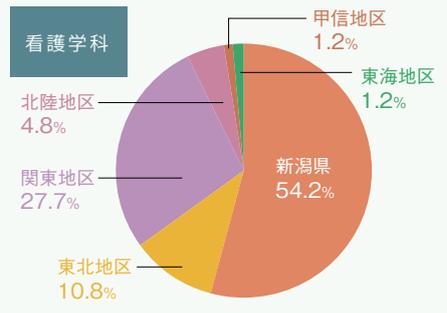
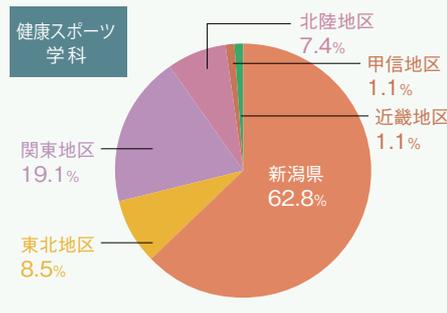
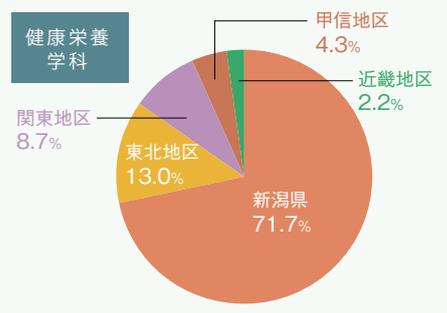
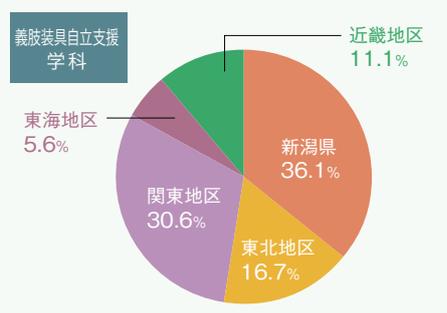
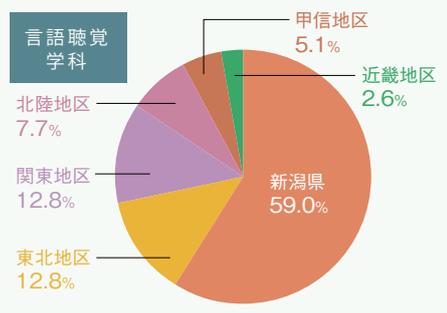
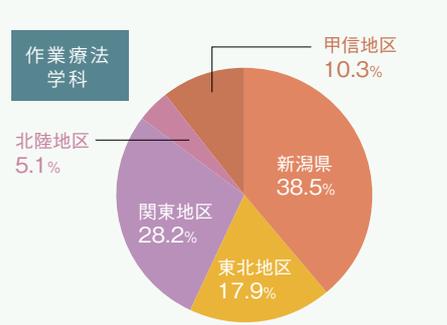
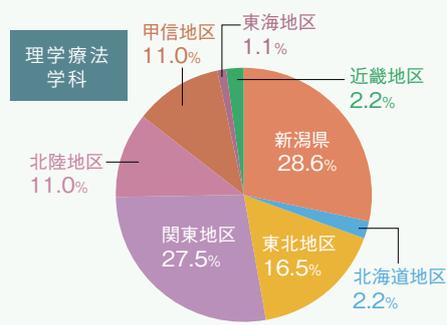
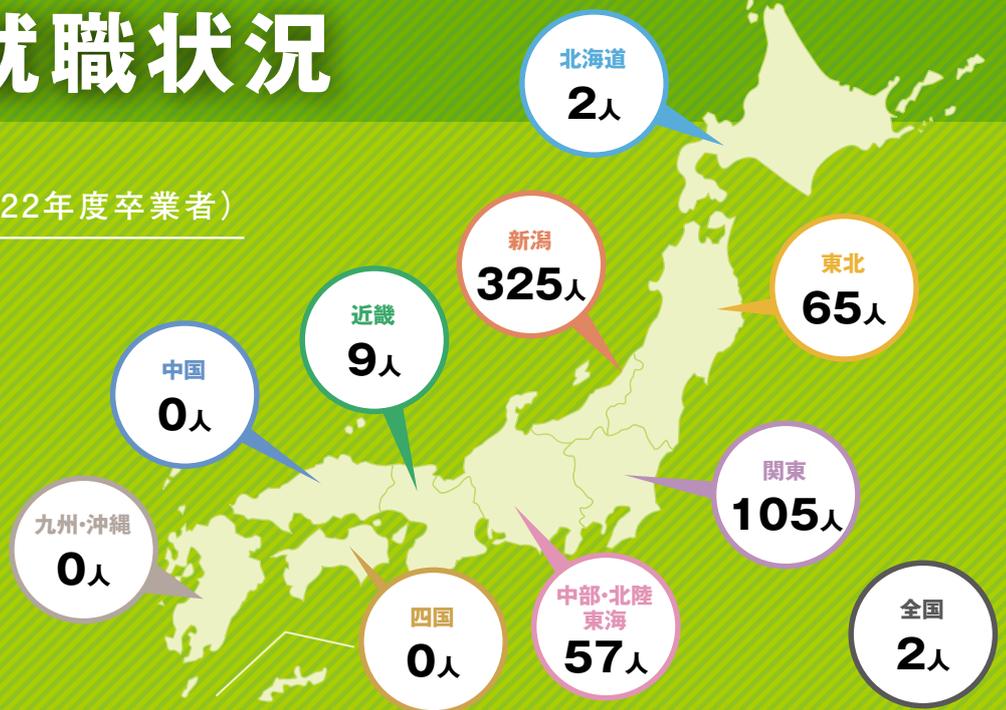
Sato D, Yamashiro K, Onishi H, Shimoyama Y, Yoshida T, Maruyama A. The effect of water immersion on short-latency somatosensory evoked potentials in human.

運動医科学機能研究所では、今後も最先端の研究を続けて、新潟医療福祉大学および新潟医療福祉大学院の研究機能向上に貢献して参ります。

卒業生の就職状況

地域別就職者 (平成22年度卒業生)

平成22年度生県別就職先			
都道府県	人数	都道府県	人数
北海道	2	新潟	325
秋田	4	長野	20
岩手	3	山梨	3
宮城	3	富山	18
山形	24	石川	10
福島	31	福井	2
栃木	6	静岡	1
群馬	22	愛知	3
茨城	8	大阪	6
埼玉	15	京都	1
東京	30	兵庫	1
千葉	10	和歌山	1
神奈川	14	全国	2



医療・保健施設

【新潟】医療法人愛広会 / 医療法人恵松会 河渡病院 / 医療法人恵生会 南浜病院 / 医療法人恒仁会 新潟南病院 / 医療法人社団共生会 中条中央病院 / 医療法人社団健進会 新津医療センター病院 / 医療法人社団五ヶ嶺整形外科 / 医療法人社団白美会 / 医療法人常心会 川室記念病院 / 医療法人新潟勤労者医療協会 下越病院 / 医療法人新成医会 総合リハビリテーションセンターみどり病院 / 医療法人積発堂 富永草野病院 / 医療法人泰庸会 新潟脳外科病院 / 医療法人博愛会 潟東けやき病院 / 医療法人白日会 黒川病院 / 医療法人立川メディカルセンター 悠遊健康村病院 / 医療法人立川メディカルセンター 立川総合病院 / 国立大学法人新潟大学 新潟大学医学部総合病院 / 財団法人健康医学予防協会 三ツ町病院 / 小千谷総合病院 / 社会医療法人桑名恵風会 桑名病院 / 社会医療法人嵐陽会 之町病院 / 社会福祉法人恩賜財団済生会 済生会新潟第二病院 / 社会福祉法人恩賜財団済生会新潟県済生会 三条病院 / 社会福祉法人新潟市社会事業協会 信楽園病院 / 社会福祉法人長岡福祉協会 小千谷さくら病院 / 社団法人上越医師会 上越地域医療センター病院 / 社団法人新潟県労働衛生医学協会 若室リハビリテーション病院 / 新潟県厚生農業協同組合連合会 上越総合病院 / 新潟県厚生農業協同組合連合会 長岡中央総合病院 / 特定医療法人水明会 佐渡荘 / 独立行政法人国立病院機構 さいがた病院 / 独立行政法人国立病院機構 新潟病院 / 独立行政法人国立病院機構 西新潟中央病院 / 日本赤十字社 長岡赤十字病院 / 白根健康生活協同組合 白根健生病院 / こん整形外科クリニック / ダイセイ歯科クリニック / レディースクリニック石黒 / 医療法人徳真会 / 医療法人佐藤医院 / 医療法人愛広会 相川愛広苑 / 医療法人有心会 介護老人保健施設いでの里 / 社会福祉法人庄やの里介護老人保健施設親里 / 医療法人恒仁会 介護老人保健施設池南風苑 / 医療法人社団みよし会 介護老人保健施設ケアポートすなやま / 医療法人新潟勤労者医療協会 介護老人保健施設入舟 / 財団法人小千谷総合病院 小規模多機能型居宅介護事業所みよしの家 / 社会福祉法人新潟慈生会 介護老人保健施設マチュアハウス中条 / 社会福祉法人長岡老人福祉協会 介護老人保健施設桃李園 / 社団法人新潟県労働衛生医学協会 いわむろの里【北海道・東北】社会医療法人北斗 北斗病院 / 岩手県医療局職員 / 日本赤十字社 盛岡赤十字病院 / 医療法人将道会 総合南東北病院 / 国立大学法人東北大学病院 / 社会医療法人明和会 / 社団法人由利本荘医師会 由利本荘医師会病院 / 医療法人篠田好生会 篠田総合病院 / 医療法人社団愛陽会 三川病院 / 医療法人徳洲会 山形徳洲会病院 / 財団法人三友堂病院 / 山形市立病院済生館 / 社会医療法人公德会 / 社団法人鶴岡地区医師会 / 庄内医療生活協同組合 / 地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 日本海総合病院 / 医療法人幸和会 美咲クリニック / 特定医療法人社団みよき会 / 医療法人昨雲会 飯塚病院 / 医療法人秀公会 あつま脳神経外科病院 / 医療法人明精会 会津西病院 / 公立若潮病院 / 財団法人温知会 会津中央病院 / 財団法人太田総合病院 / 財団法人太田総合病院付属 太田西ノ内病院 / 財団法人竹田総合病院 / 財団法人湯浅報恩会 寿泉堂総合病院 / 財団法人脳神経疾患研究所 附属総合南東北病院 / 社団法人医療法人養生会 かしま病院 / 医療法人社団平成会 / 医療法人徳洲会 介護老人保健施設あかね / 医療法人慈黎会 介護老人保健施設紫泉の里【関東】医療法人源守会 会田記念リハビリテーション病院 / 医療法人社団筑波記念会 筑波記念病院 / 医療法人社団友友会 / 社会医療法人博愛会 菅間記念病院 / かみもとスポーツクリニック / 医療法人山崎会 サンピエール病院 / 医療法人樹心会 角田病院 / 医療法人石井会 石井病院 / 医療法人中央群馬脳神経外科病院 / 群馬大学医学部附属病院 / 財団法人脳血管研究所 美原記念病院 / 社会医療法人輝城会 沼田総合病院 / 社団法人群馬県医師会 沢渡温泉病院 / 富岡地域医療事務組合 公立富岡総合病院 / 医療法人恵泉会 せせらぎ病院付属 あざくら診療所 / 株式会社GENKIDO / 医療生活協会のたま生活協同組合 / 医療法人敬愛会 リハビリテーション草野病院 / 医療法人三愛会 埼玉みさと総合リハビリテーション病院 / 医療法人至仁会 園央所沢病院 / 医療法人社幸会 行田総合病院 / 医療法人長寿会 埼玉回生病院 / 学校法人自治医科大学 自治医科大学附属さいたま医療センター / 上尾中央総合病院 / 医療法人至誠堂(社団) 至誠堂整形外科 / 社会福祉法人熊谷福祉会 介護老人保健施設はなぶさ / 医療法人財団東京勤労者医療会 東葛病院 / 医療法人社団青嶺会 松戸整形外科病院 / 医療法人社団鎮誠会 医療法人社団明芳会 佐原中央病院 / 医療法人鉄蕉会 亀田メディカルセンター / 独立行政法人国立病院機構 千葉東病院 / 医療法人財団健和会 柳原リハビリテーション病院 / 学校法人順天堂 順天堂大学医学部附属練馬病院 / 学校法人昭和大 昭和大病院 / 学校法人東京女子医科大学病院 / 財団法人厚生年金事業振興団 東京厚生年金病院 / 財団法人日本心臓血管研究振興会附属 財団記念病院 / 社会医療法人河北医療財団 河北総合病院 / 帝京大学医学部附属病院 / 東京警察病院 / 東邦大学医療センター 大森病院 / 独立行政法人国立成育医療研究センター / 日本赤十字社東京都支部 大森赤十字病院 / 医療法人社団緑野会 みどり野リハビリテーション病院 / 横浜市立脳血管医療センター / 学校法人昭和大 横浜北部病院 / 学校法人北里大学 北里大学病院 / 独立行政法人労働者健康福祉機構 横浜労災病院 / 有限会社あおほ あおほ鍼灸接骨院【北陸】医療法人社団一志会 池田リハビリテーション病院 / 医療法人社団親和会 山田温泉病院 / 金沢医科大学水見市民病院 / 高岡市民病院 / 市立砺波総合病院 / 社会福祉法人富山県社会福祉総合センター 富山県高志リハビリテーション病院 / 社団法人全国社会保険協会連合会 社会保険高岡病院 / 医療法人ホスピーア 浦田クリニック 疾病予防運動施設S-QOL / 医療法人社団織田歯科医院 / 医療法人社団勝木会 やわたメディカルセンター / 医療法人社団博友会 金沢西病院 / 学校法人金沢医科大学 金沢医科大学病院 / 社団法人石川勤労者医療協会 城北病院 / とやま治療院 / 医療法人林病院 / 日本赤十字社 福井赤十字病院【甲信】医療法人銀門会 甲州リハビリテーション病院 / 社団法人山梨勤労者医療協会 / 日本赤十字社 山梨赤十字病院 / 安曇野赤十字病院 / 医療法人社団敬仁会 桔梗ヶ原病院 / 医療法人社団中信勤労者医療協会 松本協立病院 / 茅野市・諏訪市・原村組合立 諏訪中央病院 / 社会医療法人恵仁会 くらさわ病院 / 社会医療法人財団慈恵会 相澤病院 / 長野県厚生農業協同組合連合会 佐久総合病院 / 長野県厚生農業協同組合連合会 鹿教湯三才山リハビリテーションセンター / 長野県厚生農業協同組合連合会 篠ノ井総合病院 / 長野県厚生農業協同組合連合会 北信総合病院【東海】医療法人財団百合会 湖山病院 / 名古屋大学医学部附属病院【近畿】社会医療法人大進会 ポーラス医療法人社団和歌会のみきやまリハビリテーション病院

福祉施設

【新潟】社会福祉法人いじみの福祉会 / 社会福祉法人おぢや福祉会 / 社会福祉法人つばめ福祉会

社会 / 社会福祉法人にいがた寿会 / 社会福祉法人巻老人福祉協会 / 社会福祉法人儀平会 地域密着型介護老人福祉施設入居者介護 徳蓮荘 / 社会福祉法人御幸会 特別養護老人ホームしばた / 社会福祉法人松波福祉会 特別養護老人ホームよねやまの里 / 社会福祉法人常陽会 / 社会福祉法人心友会 / 社会福祉法人新潟市社会事業協会 特別養護老人ホーム松風園 / 社会福祉法人新潟市社会事業協会 特別養護老人ホーム有明園 / 社会福祉法人新潟南福祉会 特別養護老人ホーム花見の里 / 社会福祉法人と緑の大地 特別養護老人ホームすずらん園 / 社会福祉法人仁成福祉協会 特別養護老人ホームにいがた新生園 / 社会福祉法人中浦原福祉会 / 社会福祉法人長岡三古老人福祉会 / 社会福祉法人長岡福寿会 特別養護老人ホームまちだ園 / 社会福祉法人板額の里 / 社会福祉法人苗場福祉会 / 社会福祉法人 さかえ福祉会 / 社会福祉法人愛宕福祉会 / 社会福祉法人健周福祉会 特別養護老人ホーム江東園 / 社会福祉法人桜井の里福祉会 / 社会福祉法人中東福祉会 特別養護老人ホーム菅名の里 / 社会福祉法人さんわ福祉会 / 社会福祉法人すこやか福祉会 障害者支援施設かたくりの里 / 社会福祉法人たいよう福祉会 たいようSOCIOセンター / 社会福祉法人とよさか福祉会 / 社会福祉法人フレンドランド福祉会 身体障害者小規模通所授産施設ふれんど・びお / 社会福祉法人亀田郷土会 知的障害者通所授産施設ほがらか福祉園 / 社会福祉法人十日町福祉会 / 社会福祉法人上越福祉会 / 社会福祉法人新潟みずほ福祉会 / 社会福祉法人新潟もぐら 身体障害者通所授産施設ポプラの家 / 社会福祉法人新潟市中央福祉会 / 社会福祉法人新潟太陽福祉会 / 社会福祉法人中越福祉会 みのわの里 / 新潟市有明福祉事業協会 救護施設有明荘 / 社会福祉法人長岡福祉協会 重度心身障害児施設 長岡療育園 / 新潟県コロニーにいがた白岩の里 / 西浦原福祉事務組合やこひ学園 / 社会福祉法人王神福祉会 いなば保育園 / 社会福祉法人是真会 西能生保育園 / 社会福祉法人新潟市社会福祉協議会 / 社会福祉法人柏崎市社会福祉協議会【北海道・東北】社会福祉法人 友和会 / 庄内まちづくり協同組合 虹 / 社会福祉法人啓和会【関東】社会福祉法人 友和会 / 社会福祉法人ゆずり木高齢者福祉複合施設 そら一れ新座 / 社会福祉法人東京都知的障害者育成会 恩方育成園 / 社会福祉法人黎明会 / 社会福祉法人至誠学舎立川 児童養護施設至誠学園 / 社会福祉法人同愛会 / 社会福祉法人横浜やまびこの里 / 社会福祉法人白根会 白根学園【北陸】社会福祉法人中野川福祉会 特別養護老人ホームふなはし荘 / 社会福祉法人砺波福祉会 特別養護老人ホームやなせ苑 / 社会福祉法人梅光会 児童養護施設梅光児童園【甲信】社会福祉法人長野県社会福祉事業団

公務(警察官・教員・行政) 団体・農協

【新潟】新潟県職員 / 新潟県警察本部 / 新潟市職員(保育士) / 五市市職員(栄養士) / 阿賀野市職員 / 新発田市職員 / 新発田市立保健所 / 上越市職員 / 阿賀町立鹿瀬小学校 / 佐渡市立松ヶ崎小学校 / 中学校 / 新潟市立二葉小学校 / 新潟県中央福祉相談センター / 新潟市幼児こばとごころ相談センター / にいがた若船農業協同組合 / 新潟さつぎ農業協同組合【北海道・東北】寒河江市職員 / 飯豊町職員【関東】東京都職員(都立病院) / 東京都職員(都立病院)【北陸】能登わかば農業協同組合【甲信】飯田市職員(管理栄養士)【全国】海上自衛隊 / 陸上自衛隊

義肢装具製造・販売

【新潟】加藤義肢製作所 / 株式会社ケアペアーズ / 株式会社田村義肢製作所 / 有限会社 長谷川義肢製作所 / 有限会社ジール / 有限会社荒木義肢製作所【北海道・東北】有限会社平賀義肢製作所 / 東北厚生興業株式会社 / 株式会社佐々木義肢製作所 / 有限会社エムサポート【関東】株式会社幸和義肢研究所 / 協和義肢工業株式会社 / 有限会社グレース・メディカル・テクノ / 株式会社下越フーズ / 有限会社 北信義肢 / 株式会社フーズ / 有限会社 相模原フーズ / 有限会社赤い靴 ドイツ足と靴の健康館【東海】東名プレス株式会社【近畿】株式会社ピーエーエス / 川村義肢株式会社

一般企業

【新潟】アースサポート株式会社 / 株式会社ほっとしぱたケアセンター / 社会福祉法人コープ共生会 ショートステイてらお園 / 社会福祉法人コープ共生会 テイサービスてらお園 / あおやまメディカル株式会社 / 株式会社ケンブリッジ / 株式会社はあとふるあたご / 特定非営利活動法人 いぶきの社 / 有限会社きやすと / 株式会社共立メンテナンス / 石本商事株式会社 / 日清医療食品株式会社 / NPO法人希楽々 総合型地域スポーツクラブ村上希楽楽 / チャレンジ夢クラブ西山 / 株式会社伊藤士建 / 株式会社新潟ビルサービス / 佐渡市スポーツ振興財団 / 財団法人新潟市開発公社 / 中里総合クラブ YO-BE / 幼児活動研究会株式会社 コスモスポーツクラブ / アークランドサカモト株式会社 / 株式会社アークベル / 株式会社イマージュ / 株式会社ウオロク / 越後交通株式会社 / 株式会社エフエム新潟 / 大野精工株式会社 / 株式会社下越フーズ / 株式会社スクリアのアオキ / 株式会社クボ製作所 / ケーティングフード株式会社 / コスモ石油販売株式会社 北関東カンパニー / 株式会社コムリ / 株式会社三条特殊鋳造所 / 葛栄ライフ株式会社 / 株式会社シーティーエス / 株式会社スズキ自販新潟 / 株式会社たかの / 中越運送株式会社 / 株式会社デュース / 株式会社とまつ衣裳店 / トヨタカラー新潟株式会社 / 新潟証券株式会社 / 新潟総合整備保障株式会社 / 新潟トヨタ自動車株式会社 / 新潟トヨペット株式会社 / 新潟ファーマス工業株式会社 / 株式会社パイオテックジャパン / 株式会社ハヤマ / 株式会社北越ケーズ / 北一電気株式会社 / 株式会社マルイ / 三国コカ・コーポラリング株式会社 / 株式会社星光堂薬局 ドラッグトップス【北海道・東北】ゼネラルフィット株式会社 JOYFIT / ヒューカラス株式会社 / 株式会社にしむら 健康靴MoMo【関東】株式会社メフォス / 亀屋商事株式会社 古河あかやまスイングスクール / 株式会社キョウネーサリーコーポレーション / 株式会社ジェイエスエス JSSスイングスクール / リハビリテーションクリエーターズ株式会社 ヒーンズ地域総合センター / 株式会社シュー・フォーラム 楽歩堂靴店 / 富士バル株式会社 / 株式会社ニッシン自動車工業 / 株式会社ITクリエイイト / 株式会社ユナイテッドアローズ / ペブシコラー販社グループ / 株式会社エル・アレンジ / 株式会社クロスカンパニー / 株式会社テップス・パスターズ / 株式会社ファイブフォックス / 株式会社ブリス ブリス・アーチ / 東日本旅客鉄道株式会社 薬樹株式会社【北陸】山口ハウステクノ株式会社 / サカハ産業株式会社 / 株式会社スズキ自販富山 / 株式会社太陽スポーツ / 株式会社北陸電機商会【甲信】株式会社シン・コーポレーション / 日本警備保障株式会社【全国】郵便事業株式会社 / 郵便局株式会社

2011年
4月 入学式

4月8日、第11回入学式が新潟市の朱鷺メッセで挙行されました。当日は、東日本震災により被災された皆様に哀悼の意を表し、参列者全員で黙祷が捧げられました。新設の臨床技術学科を含む4学部10学科の学部生874名に加え、修士課程21名、博士課程5名の合計900名が未来への期待を胸に、第一歩を踏み出しました。

2011年
5月 名誉教授称号授与式

5月25日、本学にて新潟医療福祉大学名誉教授称号授与式が開催されました。今春退職された大橋靖元言語聴覚学科教授、大鍋壽一元義肢装具自支援学科教授、和唐正勝元健康スポーツ学科教授の3名に、これまでの教育及び学術研究活動の顕著な功績を称え、名誉教授の称号が授与されました。

2011年
7月~ オープンキャンパス

7月16日、8月6・7日、9月3日、オープンキャンパスが開催されました。全10学科がそれぞれに工夫を凝らした合計70種類以上の体験・展示プログラムや学科説明会などに、未来のQOLサポーターを目指す高校生らを中心に、延べ3400名以上の方が集まりました。

2011年
9月 学習支援センター 開設

9月26日、在学生の学びをサポートすることを目的に、本学キャンパス内に学習支援センターを開設しました。「講義の理解度を上げる為に、高校で学習した分野の復習がしたい」「基礎学力を更に身に付けたい」などの在学生の要望に応じて開設した当センターは、自習室としての機能も有しており、勉強・研究に熱心な学生などが日々活用しています。

2011年
10月 大学祭

10月9日、10日の両日、大学祭「伍桃祭」が「Make our day」をテーマに開催されました。延べ2700名以上の多くの方々が集まり、大変にぎやかなイベントとなりました。模擬店やゲストを招いてのトークライブ、ダンスライブなど笑顔の絶えない日でした。

2011年
10月 就職率ランキング 私立大学第1位達成

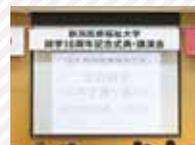
『PRESIDENT 2011 10.17号』（プレジデント社）において、2011年就職率ランキングで私立大学第1位（全国第2位）を達成しました。この結果は、本学で身に付ける確かな知識・技術と実践力、そして「連携教育」で培ったコミュニケーション力が、病院等の医療機関や福祉施設をはじめ、あらゆる現場から高い評価を頂いている結果だと確信しています。



大学名	就職率	就職先定数	就職先
新潟医療福祉大学	94.7%	500人以上	医療・福祉
関西国際大学	94.5%	500人以上	総合
日本経済大学	94.3%	500人以上	総合
日本福祉大学	94.2%	500人以上	福祉
日本医療科学大学	94.1%	500人以上	医療
日本歯科大学	94.0%	500人以上	医療
日本歯科大学	93.9%	500人以上	医療
日本歯科大学	93.8%	500人以上	医療
日本歯科大学	93.7%	500人以上	医療
日本歯科大学	93.6%	500人以上	医療
日本歯科大学	93.5%	500人以上	医療
日本歯科大学	93.4%	500人以上	医療
日本歯科大学	93.3%	500人以上	医療
日本歯科大学	93.2%	500人以上	医療
日本歯科大学	93.1%	500人以上	医療
日本歯科大学	93.0%	500人以上	医療
日本歯科大学	92.9%	500人以上	医療
日本歯科大学	92.8%	500人以上	医療
日本歯科大学	92.7%	500人以上	医療
日本歯科大学	92.6%	500人以上	医療
日本歯科大学	92.5%	500人以上	医療
日本歯科大学	92.4%	500人以上	医療
日本歯科大学	92.3%	500人以上	医療
日本歯科大学	92.2%	500人以上	医療
日本歯科大学	92.1%	500人以上	医療
日本歯科大学	92.0%	500人以上	医療

2011年
10月 開学10周年記念式典及び講演会

10月28日、本学にて学内外の関係者約300名の出席のもと、「新潟医療福祉大学開学10周年記念式典及び講演会」が挙行されました。本学は2001年4月1日に開学し、開学当初の2学部5学科から発展を続け4学部10学科となり、保健医療福祉関連の大学では日本海側最大の大学となりました。建学の精神と理念に基づき、本学は未来に向けて新たな一歩を踏み出しました。

2011年
11月 保護者会

11月5日、本学にて保護者会が開催されました。当日は600名を超える保護者の皆様が登場され、会場は終日熱気に包まれました。会終了後、「国家試験に向けた取り組みが分かり安心しました」「学生の未来の明るさを感じました」など意見を頂き、保護者の皆様の教育への熱意をあらためて感じた会となりました。



1年間の 活動報告



平成23年度学友会会長
理学療法学科 3年
大井 結季

卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。
多くの人と出会い、様々な事を学んだ大学生活4年間は、
今後も色濃く思い出に残るのではないのでしょうか。

また、日頃より学友会の活動にご協力いただきまして、
誠にありがとうございます。学友会行事である伍桃祭やス
ポーツ大会、美化キャンペーン等様々な場面で4年生のみ
なさんご参加、ご協力のおかげで、今年度も大いに賑
わいを見せて終えることができました。

今年度は新しい企画を積極的に取り入れ、学生生活
をより充実させるために活動してきました。フリーペーパー
「RiRi」もその一つです。学生生活にちょっと役立つような
情報を掲載し隔月で発行しています。スナップ写真のコー
ナーで4年生にもたくさん登場していただきました。新しい
企画を取り入れる反面、先輩方が作り上げてきた物も少
しずつ形を変えながらも基盤として下の学年に残してしま
いました。スポーツ大会や伍桃祭では学年を超えて盛り上
ることができたのではないかと思います。今年度新しく企
画した行事も先輩方が残してくださった物のように後輩た
ちに新しい伝統として残して行きたいと思います。

卒業生の皆様はこの大学生活の中で多くの絆が生ま
れたと思います。それは同じ学科の中だけでなく部活、
サークル、ゼミ、等様々な繋がりの中で生まれたものだ
と思います。そんな大学4年間の中で生まれた絆を、社会に

出てからも大切にしていきたいです。

最後になりますが、学友会は学生と共にこの新潟医療
福祉大学を盛り上げ、よりよい大学にしていくために活動
していきます。これからどうか学友会を温かく見守って頂
けたら幸いです。また、近くに来られた際、伍桃祭などのイ
ベントの際には、是非お顔を見せて頂きたいと思います。



第11回伍桃祭（大学祭）報告 伍桃祭を終えて



第11回伍桃祭実行委員長
健康スポーツ学科 2年
濱田 祐輔

去年の3月11日、日本に歴史
的な大地震が起きました。甚
大な被害が出てしまい、多く
の人たちが傷つきました。そんな
中、復興の力になるものに「笑
顔」「楽しいと思う気持ち」「誰かのために」などがありま
す。これらは人の気持ちを生き返らせます。人に笑顔が戻
るとことは生きる力の復活であると思います。今年の
伍桃祭のテーマである「make one's day」には、「誰かの
ために楽しい1日を過ごす」という意味があります。ある人
にとっては「学祭に来てくれた人たちを楽しませたい」とい
う思いがあり、またある人にとっては、「自分にとって楽しい
1日を過ごしたい」という思いもあると思います。伍桃祭と
いう空間の中で、人それぞれの思いが学祭を楽しむとい
う方向に進んでいけば、盛り上がる最高の1日になると思
い、このテーマに決めました。この伍桃祭を学内、教職員、
地域の方々など関わっている全ての人が一団となり、楽し
めるような大学祭を企画しました。



めるような大学祭を企画しました。

当日は、他大学との
交流会や地元小中
学校吹奏楽の演奏など
地域の方々に参加でき



るイベントをはじめ、多くの出店が立ち並びました。昨年に
引き続き、地域密着型の大学祭ということに重点を置き、
今年は昨年以上に盛り上がる事ができたと思います。

また、その他のイベントでは大橋トリオ、haikarahakuti、
おたわ史絵さんをお呼びしてのライブパフォーマンスや
講演会、9学科それぞれの学科パフォーマンスなどは中庭
や体育館から溢れるほどの人にご参加いただきました。

最後になりましたが、無事伍桃祭を終えることができた
のも、学生や教職員の方々をはじめ、地域の方々や企業
の方々など、多くの方にご協力していただいたおかげで
す。何より、一緒に企画・運営してくれた学友会・伍桃祭
実行委員に感謝致します。ありがとうございました。



サッカー部

「つかめ! ロンドンオリンピック!」～川村 優理 選手～



平成24年元日、国立競技場にて第33回全日本女子サッカー選手権大会 決勝 アルビレックス新潟vsINAC神戸レオネッサの試合が行われた。試合は前半終了間際に先制点を喫し0-1、後半51分、70分にもゴールを許し0-3の完敗。同時に川村優理(健康スポーツ学科4年 元U-17・19日本女子代表)にとって、学生生活最後の試合が幕を閉じた…

アルビレックス新潟レディースと連携し、男子チーム(平成20・21年度インカレ出場)同様に女子部員の活動を支援すること5年。現在、6名の本学女子部員が同チームでプレーしている。その中でも際立った活躍をみせていたのがこの川村優理である。3年時には、日本女子代表(なでしこJAPAN)の一員として、チリ国際大会優勝に貢献した。4年時は、ロンドンオリンピック2012アジア最終予選直前キャンプにサポートメンバーとして帯同した。この合宿は、なでしこJAPANがワールドカップ優勝を果たしたこともあり、世間から注目された。(最終日は約6000人のファンが訪れた)本人にとっても刺激的なキャンプとなった。そのキャンプ前

には“なでしこリーグ選抜”の一員として「東日本大震災復興チャリティーマッチ がんばろうニッポン!」に出場した。この試合では、「被災者の皆さまに笑顔や感動をプレゼントできるように…」と願いを込めて一生懸命プレーした。

この3月に卒業式を迎える彼女は、2012シーズンもアルビレックス新潟レディースでプレーする。オリンピックイヤーは代表選手の消耗、変則的なリーグ日程などから、チームとしても個人としても良いコンディションを保つことが難しい。だからこそ、そういう壁を乗り越える彼女の姿が見てみたい… つかめ!日本一! つかめ!ロンドンオリンピック!

監督(健康スポーツ学科 准教授)
秋山 隆之



陸上競技部

平成23年度の陸上競技部の成績としては、北信越学生陸上競技対校選手権大会で男子総合得点144.5点で初の総合優勝、女子は108.5点で総合4位が画期的な出来事で、陸上部創設7年目にして念願の総合優勝が果たせました。これから北信越に新潟医療福祉大学の時代を築き、さらに日本全国に新潟医療福祉大学の存在を誇示できるように頑張っていくつもりです。この活躍は素晴らしい1年生の加入によります。特に男子200mで山崎勇哉君(1年)の優勝、女子円盤投げで大野果穂さん(1年)の優勝が目立ちました。上級生では男子円盤投げ土田祥太君(4年)、男子ハンマー投げ佐藤翔君(3年)、女子100mH桑野沙紀さん(4年)、女子やり投げ小林梨奈さん(4年)が優勝しました。また、男子100m、200m、800mでは3名出場して3名とも入賞を果たしました。

熊本であった日本学生陸上競技対校選手権大会には6名選手が出場しました。秋季北信越学生陸上競技選手権大会では1600mリレー(三平崇弘君1年、田村大樹君2年、大滝翔太郎君1年、斎藤貴広君1年)、男子やり投げ長岡健太君(3年)、女子1500m堀内曜子さん(大学院1年)が優勝しました。第55回北陸陸上競技選手権で



は円盤投げで土田君が優勝し北信越学生記録を、女子七種競技では渡部さんが優勝しました。出雲全日本大学選抜駅伝大会には中澤翔君(大学院1年)、牛木陽一君(4年)の2名が北信越学連選抜選手として疾走しました。また、年々、多くの部員が全国大会に出場できるようになっています。約70名の部員は切磋琢磨して練習に励み、これからも良い成果を出していきます。ご声援をよろしくお願いします。

監督(健康スポーツ学科 教授)
丸山 敦夫

水泳部

2011年度、水泳部は創部7年目を迎えることができました。昨年度までは日本水泳連盟学生委員会の「関東支部」に所属していましたが、今年度から日本水泳連盟の制度改革により本学を含めた新潟県内の全ての大学が、「中部支部」へ移動し、日本学生選手権の予選会として、中部学生選手権に出場しました。中部支部には日本学生選手権優勝校の強豪中京大学が所属しているため、非常にレベルの高い大会となりました。初めて参加した大会ではありましたが、男女とも総合2位を獲得し、男女揃って日本学生選手権の団体出場権を獲得することができました。個人では沼田裕介(健康スポーツ学科4年)が日本選手権(25m)で6位入賞、大友瑛史(同学科2年)が日本学生選手権でB決勝進出を果たすなど、男子で新たな歴史を作ることができました。

また、部員たちは新潟県内の大会で競技役員など大会運営のお手伝いをしたり、地域の小学校にボランティアで水泳指導に行くなど、水泳を通した地域貢献も意識して行っております。

さらに、日頃から部員たちには、「速く泳げることは社会に出てから役に立たない。速く泳げるために本気で努力することが社会に出てから役に立つ。」「チーム目標を達成す

るため、自分の役割を考えて行動(練習しよう)」という2つのことを話してきました。卒業する部員たちには、この水泳部で培ったことを忘れずに社会に出ても精一杯頑張ってください。

日々の活動報告を以下で紹介していきますのでご覧ください。

<http://nuhw.blog-niigata.net/swim/>
卒業おめでとう。そして、4年間ありがとう。

監督(健康スポーツ学科 准教授)
下山 好亮



大友 瑛史



沼田 裕介

男子バスケットボール部



本学男子バスケットボール部は、大学強化クラブに指定され(H17年度)本格的に強化を始めた当初から、県内外のバスケットボール関係者及びバスケットボールファンに注目され、優秀な成績を収めてきました。

今年度男子は、北信越大学バスケットボール春季リーグ戦(5月:石川県)で1部リーグ4位。北信越大学バスケット

ボール選手権大会兼インカレ予選(10月:福井県)は予選トーナメントで敗退しインカレ出場はできませんでしたが、新潟県ミニバスケットボール選抜チームのクリニック(講習会)、総合型地域スポーツクラブ「こいこいスポーツクラブおぢや」が主催するクリニックに積極的に参加し、子供達と参加チームの指導者の皆様方から称賛の声を頂きました。来年度も、各種大会での上位入賞、そして必ずやインカレに出場するよう、一丸とな

って頑張ります。また、地域活動にも積極的に参加し、バスケットボールのレベル向上に貢献していきます。

男子バスケットボール部の保護者の皆様方、大学関係者、卒業生の方々から多くのご声援とご協力を頂いています。この場を借りて御礼申し上げます。

監督(健康スポーツ学科 准教授)
高沢 文隆



<男子>	
北信越大学バスケットボール 春季リーグ戦1部	4位
甲信越大学バスケットボール 定期戦大会	準優勝
新潟県バスケットボール 選手権大会	準優勝

女子バスケットボール部

監督2年目、部員は4年生3名・3年生4名(マネージャー2名)・2年生6名・新1年生6名(マネージャー1名)の19名でのスタートであった。

女子バスケット部の伝統を汚さないよう、選手とともに努力し、今年もかろうじてインカレ出場を果たし、歴史の継続ができたことは本当に喜ばしいところでした。

長い1年間、多少の凸凹はあったけれども、取り敢えず部活動の運営が無事終わったことでほっとしている。正直、私自身は部員達の練習に対する直向きな姿に「ここからしっかりこれに負けずに!」と鼓舞されてきたように感じ、彼女達にお世辞抜きに感謝しているところです。

更に、スタッフ(マネージャー・控えの選手)の「縁の下力」にも支えられた。彼女達の徹底した支援は並大抵ではなく、「目に見えないところでの活躍」を当たり前のように行う姿勢は本当に素晴らしい。心から感謝している。世の中に出た時、本当に着実に生きていけるのはこのレベルの学生ではないのかと感動さえ覚える。

また、先生方の支援に対しても感謝の気持ち一杯である。選手のトレーニングやケアに遅い時間まで取り組み、時にはカウンセラーとして部員の悩みにまで耳を傾けるなど手厚いアフターを頂戴した。怪我・病気・精神的不安等など、多様な状況に真剣に対処をいただき、頭の下がる思いでした。

シーズン1年間(正味10ヵ月)は試合・遠征は密度が高く、厳しい環境であるけれども、常に目標を見失わず、狙いに到達することができるよう努力を惜みませんでした。必ずや「成せば成る」ことを信条として今後も選手とともに頑張っていきたいと思っている。右記に23年度大会成績結果を添えて活動報告とします。

監督(健康スポーツ学科 教授) 大滝 和雄

年間成績結果報告(4月~12月までの戦績)

4月	第65回近県バスケットボール選手権大会	ベスト4
5月	第45回笹本杯争奪北信越大学バスケットボール春季リーグ戦大会	優勝
6月	第59回西日本学生バスケットボール選手権大会	1回戦敗退
7月	第8回新潟カップバスケットボール大会	ベスト4
	第56回新潟日報杯争奪バスケットボール大会	ベスト4
9月	第43回甲信越大学バスケットボール定期戦大会	優勝
	第57回北陸バスケットボール選手権大会	ベスト4
10月	第44回北信越大学バスケットボール選手権大会兼インカレ予選	準優勝 インカレ出場健闘獲得
	●1回戦 新潟医療福祉大学 166-33 清泉女学院大学(長野県)	
	●2回戦 新潟医療福祉大学 69-65 北陸学院大学(石川県)	
	●決勝リーグ 新潟医療福祉大学 88-43 新潟青陵短期大学(新潟県)	
	新潟医療福祉大学 56-92 新潟経営大学(新潟県)	
11月	平成23年度新潟県バスケットボール選手権大会	
	兼全日本総合バスケットボール選手権大会新潟予選会	
	兼第31回北信越総合バスケットボール選手権大会新潟県予選会	ベスト8
12月	第62回全日本大学バスケットボール選手権大会(インカレ)	1回戦敗退
	新潟医療福祉大学 57-66 早稲田大学	

よさこいサークル舞桃会



第8期卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

よさこいサークル舞桃会は昨年春に結成し、もう一年が経ちます。当初はほぼ全員が初心者でしたが、沢山の練習や演舞活動を積み重ねてきました。現在では人数も増え、30人で楽しく元気に踊っています。私達は、県内最大の踊りの祭典である新潟総踊りをはじめとし、伍桃祭や海外研修生交流会、そして地域イベントにも参加させて頂きました。最初の活動として、新潟総踊りに向けて毎日練習をしました。不安いっぱい私達でしたが、踊りや気持ちを一つにしてチームを創り上げていくことが出来ました。また、他チームさんとの合同練習や練習見学により、沢山の踊り子さんやよさこいの創り出す時間を共有し、同時に私達のモチベーションも上げることが出来ました。そして当日は、皆楽しく踊れたように感じています。何より、観客の皆さんからの「ありがとう」などの温かい言葉や拍手に感動を貰った事で、多くの愛と感謝が伝わるような演舞がしたいという目標を再確認することが出来ました。そして、卒業生皆さんのこれからの活躍と幸せを願いながら、感動を創っていきたいと思います。これからも舞桃会を宜しくお願いします!

弓道部



弓道部は、大学内に弓道場がないため、大学では体育館での筋力トレーニングや素引きを行い、時間に余裕のあるときは大学外施設の鳥屋野弓道場を使用させて頂いています。初心者は弓が打てるように基本の形を覚え、経験者は初心者の指導にあたりつつ、己の射形を磨いてきました。

今年度は、私たち弓道部にとって進歩した年でもあります。新入部員が多く入り、少しでも多く弓道場で引けるように鳥屋野体育館以外の学外弓道場施設の可能性を模索してみたり、学問の傍ら、事務や学友会の方宛の企画書を分担して作成したりもしました。皆、弓をよりよい環境で引きたい一心であります。今思うと、あの行動力はどこから出ていたのか不思議でなりません。来年度も本年度同様に、精力的に活動したいと思います。

又、夏季休業中に長野県にて合宿を行いました。標高が高いところだったので、熱中症の心配もなく、むしろ涼しいくらいでした。宿泊場所に隣接して弓道場があるので、日頃あまり引けない分、多く引くことが出来ました。初心者の部員には初めての前に立たせることができました。

来年度は大会参加をさらに増やして行けたらと思います。環境は、とても良いとは言えない状況ですが、日々の地道な努力こそ上達への道と信じ、部員一同練習に励む日々です。

大学院 新潟医療福祉大学 医療福祉学研究科

第8期卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。そして既に卒業された皆さん、お元気ですか?大学院が設立され、今年で8年目を迎えることとなります。これまでに大学院で学んだ皆さんは、より高い専門知識を身につけ、それぞれが働く現場で力を発揮されていることと思います。

社会人の方も通学できる夜間や土曜開講に加え、長期履修生制度、各種奨学金制度など、本学大学院は、様々な面で皆さんの学びたい気持ちのサポートを行っています。キャリアアップを考えている方、少しでも興味を持った方は、大学院入試事務室までお気軽にお問い合わせください!

■ 充実の制度

- 本学卒業生は、入学金が**半額(10万円)免除になります。**
- 平日は18:10から授業スタート。土曜日や集中授業もあります。
- 修士・博士後期課程とともに長期履修生制度があります。(修士:最長4年、博士:最長6年)
- **本学の各専攻、分野は教育訓練給付金の対象講座として指定を受けています。**(修了後、申請者に10万円を上限として給付金が支給されます)
- 各種奨学金制度あり。(いずれも定員があります)
- ・ **大学院無利子貸与奨学金(学費の全額か半額を無利子で貸与)**
- ・ 特別研究奨学金(卒業生対象。年間15万円~20万円を給付)
- ・ 修学援助奨学金(2年次に15万円~20万円を給付)

注目

優秀で経済的に修学が困難な方を対象に、平成24年度より修士課程の学費減免特待生制度がスタートしました。特待生として採用された場合、最大で年間65万円の学費が減免されます。(分野や年次により減免額は異なります)

詳細は大学院HP(<http://www.nuhw.ac.jp/grad/index.html>)に掲載されていますので、是非ご覧ください。



*資料請求やお問い合わせは本学入試事務室まで。 TEL:025-257-4455(代)、FAX:025-257-4456、E-mail:grnyuusi@nuhw.ac.jp

同窓会ホームページのお知らせ

皆さん、同窓会ホームページをご覧になっていますか?

母校や同窓会の最新ニュースは日々更新されています。また、活躍している卒業生を紹介する「卒業生は今!」や、「こころに届くいい話」は毎月10日頃に更新をします。是非、定期的にご覧ください。また、同窓生の方に役員が寄稿のお願いをしております。役員から依頼があった際は、ご協力をお願いいたします。



会員情報・住所変更届のお願い

住所・勤務先・氏名の変更などは、同窓会トップページの「会員情報・住所変更届出」から手続きをお願いいたします。

また、同窓会に関するご意見・お問い合わせ・投稿は、

E-mail: dosokai@nuhw.ac.jp

同窓会サイトについて(会員情報・住所変更届出)

<http://nuhw-dosokai.jp/>

編集後記 Hennisyu-kouki

やわらかな春の日差しが嬉しい季節になりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。昨年は東日本大震災を経験し命の尊さ、人と人との絆の大切さを改めて実感した一年でした。同窓会でも今まで以上に在学生・卒業生・教員との繋がりが大切だと感じています。

今年は、同窓会コミュニティサイトの実現など新たな取り組みを進めながらホームカミングデーの開催など皆様の繋がりを深められるお手伝いだけできればと思います。

(作業療法学科 2011年卒 高野葵)

新潟医療福祉大学同窓会

問い合わせ先: 新潟医療福祉大学 事務局内 同窓会支援室

- 新潟市北区島見町1398番地
- メールアドレス dosokai@nuhw.ac.jp
- 電話番号 025-257-4455